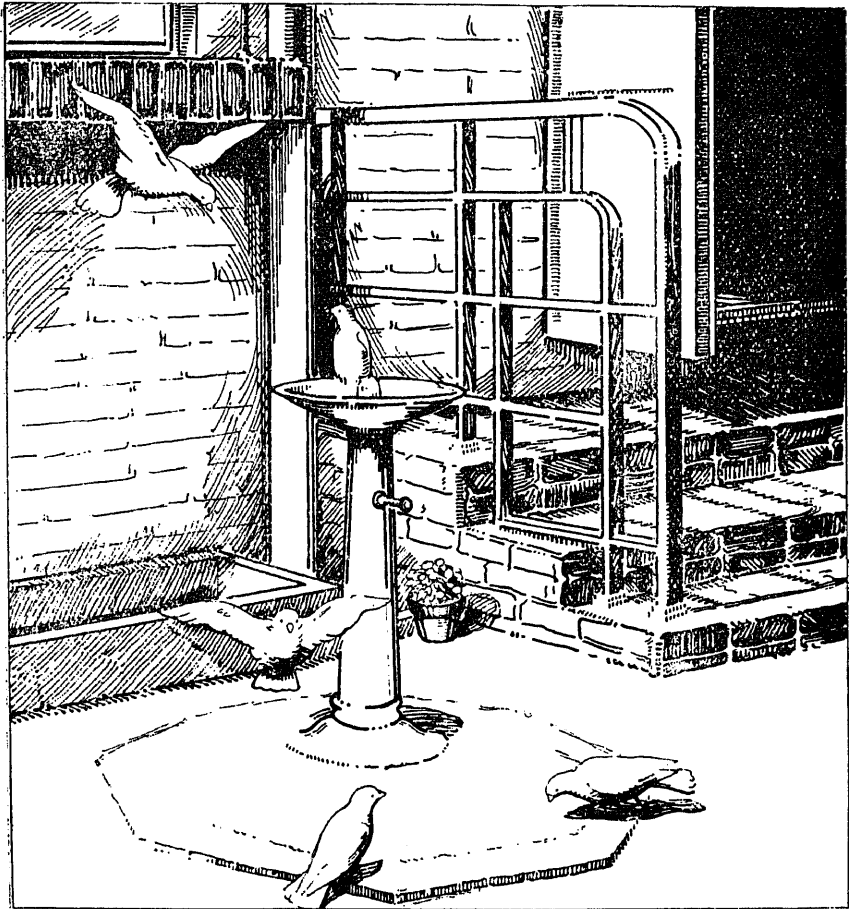


育教の兒幼

號六第 號月六 卷五十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼本日

謹告

本所主催の夏期保育講習會は回を重ねること既に六年、常に多大なる御賛同によつて毎回盛況を重ねて参りましたが、本年は都合により休會いたし來年夏更めて第七回講習會を開くことにいたしました。既に御間ひ合せの方々もあり右御諒承を乞ひ度ぐ茲に謹告いたします。

昭和十年六月

東京昭和保姆養成所

所長 土川 五郎

保育夏期講習會(第七回)

この夏も左記の通り第七回の保育夏期講習會を開催いたしたいと存じます
本年も亦昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考と致しまして理論よりも實際に重きを置いて講師及科目
を選んでおります
幼児教育に直接携はれる先生方は勿論其經營者及將來この方面に進出せんとせらるゝ方に御入會を切にお勸
め致します
昭和十年六月

要 綱

一、期 間 昭和十年七月二十七日より三十一日まで五日間(毎日午前八時より午後三時まで)
二、會 場 東京市芝區愛宕町一丁目八番地 智山派宗務所講堂

一、講師及科目

一、保育の本義(四時間)

本會の第一回講習より御出講せられて幼児保育の理論に實際に御指導を頂いております本會は特に保育の本義と題されて従來動も
すれば閑却され勝な保育の實際精神に就て御説示されます

倉 橋 惣 三氏

東京女子高等師範學校教授

一、幼児に接する保姆の心境(二時間)

ラヂオの修養講座で全國にその名を知られられます高神先生が今回特に出講せられて平素幼児を取扱つておらるゝ保姆さん方
に「清涼の世界」と題されて精神修養のお話をして頂きます

高 神 覺 昇氏

智山専門學校教授

一、幼児の唱歌發聲法(八時間)

毎年の講習會に於て皆さんから非常な期待と敬慕を以て迎へられておらるゝ先生が本年も亦出講せられて幼児に對する唱歌の發聲
指導に就て懇切に御指導されます

梁 田 貞氏

東京音楽學校講師

一、幼児の遊戯指導(十時間)

戸 倉 ハル氏

東京女子高等師範學校助教

(△△市 電 田村町四丁目下車 約二丁)
△市バス 放送局下車 スグ)

昨年第六回の講習に於て始めて御出講せられてその御熱心なる御指導に對して皆さんから非常な感謝を以て迎へられましたので本年も亦特に御出講を請ひ幼児の遊戯の實際指導をして頂くことになつてゐます尙時間敷も昨年より二時間増加して皆さんの御期待に沿ひたいと考へてゐます

佛教保育協會保幼養成所講師

一、手技製作の新教材(五時間)

幼児の手技製作に就ては不斷的の御研究と努力を拂つておらるゝ先生が最近一ヶ年に御考案されました新しい教材に就て發表並に指導をされることになつております

ト部 たみ氏

一、科外講話 講師

本會會長前文部政務次官 安藤正純氏
同副會長中野高等女學校長 富田敏純氏
同副會長東洋大學教授 關寛之氏

一、講習科 會費 金貳圓五拾錢也

一、定員 貳百名
一、申込書 東京市芝區愛宕町一丁目八番地 智山派宗務所内
佛教保育協會夏期講習會事務所宛

一、申込期日 七月二十日迄(但し會場の都合により定員超過の場合は期日前に一切することがあるかも知れません)
一、宿泊 一泊二食付金壹圓參拾錢にて會場より半丁左記高級旅館を御世話いたします
東京市芝區田村町四丁目二番地 千歲館(市電田村町四丁目下車)

一、鐵道割引 本講習に參加せらるゝ方に限り全國各地より鐵道旅客運賃往復三割引の特典が與へられます
一、見學 八月一日、東京放送局、増上寺其他各市内代表的幼稚園託兒所の見學をいたします
一、證書 講習修了者には修了證書を授與いたします

御注意

申込書入用の方又は講習に就ての御問合は左記へ願ひます

東京市芝區愛宕町一丁目八番地智山派宗務所内

佛教保育協會夏期講習會事務所

振替口座東京七八六六七番
電話 芝九八八九番

第六回 全國保姆夏季講習會

一、期間 八月二日より五日迄(四日間)至午前八時半、至午後四時半

二、會場 大阪府立大手前高等女學校講堂(大阪東區大手前町大阪府廳北側)

三、科目と講師

■午前の部

1. 幼兒の藝術の鑑賞力及幼兒心理に關する最新學說

廣島文理科大學教授 文學博士 久保良英先生

久保博士は新しき方途を研究して學界の啓發に餘念なき權威者。人格心理、行動心理、精神分析學上より、この問題を懇切に且つ平易に闡明せらる。特に保姆各位の知悉せねばならぬ重要問題(四時間)

2. 醫學的見地より保育上の重要問題 兵庫縣立兒童研究所長 醫學博士 速水寅一先生

醫學的見地から保姆各位の必ず心すべき興味多い新しい問題を一々具體的に例をあげて説明し且その取扱法を講述せらる(二時間)

3. 保育の實際問題(幼兒と俱に生きる) 京都平安學院教授幼稚園主事 大塚喜一先生

大塚學士は稀にみる篤學の士、保育の實際なるこの問題を學理的に論談せらる。幼兒に接せる各位には金玉の聲ならん(三時間)

4. 教育診斷及教育治療學上より保育の實際問題 大阪教育研究所長 大伴茂先生

四月に發刊された「我が子の育て方全書十卷」の著者。さきに歐米に留學し、歸朝後、専ら幼兒の智能測定、教育診斷に没頭、科學的再設に、全能力をあげられて居る。先生の講話は一々肯綮に價するを確信する(二時間)

5. 幼稚園童話の題材と其の扱ひ方 大阪毎日新聞社童話班 藤野福雄先生

新童話の理論と實際について先生の蘊蓄を傾けて講述。

6. 新しい手技の製作 東京三つ田手技研究所長 三つ田花子先生

新しい手技の研究家なる先生が新考案になる保育資料を提供さる(四時間)

午後 の 部

7. 幼稚園の遊技會、運動會に適切なる體育ダンス及唱歌遊技(新作廿種)

久保舞踊研究所長 久保富次郎先生
大日本新遊技研究會長

久保先生は體育ダンス舞踊を研究すること十數年、著書六十有種。かつて歐米各國に外遊せし我國幼兒ダンス建設の第一人者なり(八時間)

8. 幼稚園に適切なる教育舞踊と唱歌遊技(新作廿種發表)

戸谷舞踊研究所長 戸谷俊子先生
大日本新遊技聯盟幹事長

先生はエリアナバプロバ女史に師事し且つ若柳流新舞踊の名手也。その作は和洋を折衷し動的に自然にリズムカルに按舞し、教育的にして新味と生氣をおふるやさしき舞踊。天才的の女流創作家なることは毎年全国各地の講習會に於て等しく驚歎するところである(八時間)

一、講習料 午前の部 金參圓 午後の部 金參圓 兼修 金五圓

一、宿泊 二食附金一圓三十錢。大阪天神橋南詰、停留所前、堂島川畔の吉野屋旅館にて親切に世話す。

一、定員 各二百名

一、申込 七月末日迄に當會に到着する様に必ず會費を添へ、午前か午後かを明にし、主催者宛に、書留若くは振替口座大阪七一四六番に申込むこと。手技の材料其他の準備のためお早くと御申込み頂くと幸ひです。

大日本新遊技研究會長久保富次郎監修

月刊 體育ダンスと教育舞踊(一冊 金參拾五錢)

發行所

大阪市北區南森町森町ビル

大日本新遊技研究會

大阪市北區南森町森町ビル

大日本新遊技研究會

振替口座大阪七一四六番

キダングブツ

ツウオノメバツ

観繪
察本

別附
冊録

保育に役立つ

月刊繪本

(1)

幼稚園の「教科書」といわれる本誌は、幼児教育界の權威者の責任編輯になるもの。

(2)

帝展その他の畫壇に於ける一流の童畫家の作品を内容とし、科學的にも藝術的にも正しく而も明朗。

(3)

子供繪本として世界の最高レベルに立つキンダングブツ。

顧問

編輯顧問	倉橋惣三先生
同	岸邊福雄先生
繪畫顧問	清水良雄先生
童謡顧問	西條八十先生
作曲顧問	小松耕輔先生
衛生顧問	三田啓先生

定價

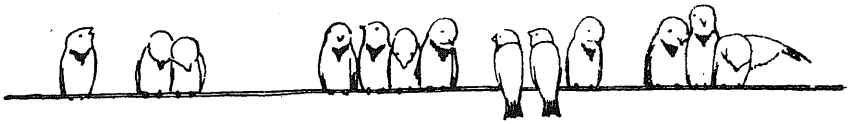
キンダングブツ	一冊
別冊附録	
ツバメノウチ	一冊
併せて二冊	金三十五錢
一ケ年	金四圓



發行所

株式會社 丸貝館

本店 東京・田神・小川路・電話九段(33)番七二八
支店 大阪・區東・五丁目後備・電話一三九八番



號六第 育教の兒幼 卷五十三第

—(次 目)—

	口繪	
	卷頭(汗)	倉橋惣三(一)
	行き過ぎた幼児教育	和田實(二)
	夏の幼年童謡の中より(上)	葛原しげる(六)
	幼児童謡の特殊性	内山憲堂(元)
	都市幼児教育の問題(三)	倉橋惣三(三七)
	児童心理學文獻抄(八)	牛島義友(四)
	素人に出来る木工の話(二)	山形寛(六)
	一年間の保育(二)	宮本光代(空)
	あなたの机の上に	(七)
	ひまりがたり	新庄よしこ(五)
	まはる水車・走る小舟	小島その(七)

上澤謙二先生編著

四六判美裝 函入四二〇頁

「春の巻」新刊

定價二圓二十錢 送料十四錢

新幼兒ばなし

二百六十五日

毎日取扱方説明附

全四冊
 春の巻 (新刊)
 夏の巻 (近刊)
 秋の巻 (續刊)
 冬の巻 (續刊)

日話の目的と取扱方を附した懇切な本だ其儘讀み聽せても萬點幼稚園に家庭に！極めて良心的な豊かな本だ

何時もインツプやグリムでは物足らぬ人達に！本書は主に現代歐米作家から話材を探りこれに著者の創意を加ふ。實際口演者の爲にも至便だ「春の巻」—内容の一部—太鼓の中の兵隊さん・五ヒキノブタ新しい一年生おめでたう・櫻ンボの冒険・腰まがりおばあさんの家・うれりくり路・「君ケ代」のおはなし・犬よりも強いお母さん猫の話・散歩にいつた三匹の豚さん・小さい羊飼・等

・世に恐ろしいことは多い。が何といつても幼ない者に話をすることは恐ろしい。何故なら人殺しの話もおバケの話も、的に立つ矢の様にピンピン根深く彼等を射るからだ。
 ・世に有難いことは多い。然し幼兒に話をすること程有難いと思はれる事は少い。何故なら愛の話を智慧の話も、的に立つ矢の様にピンピン根深く彼等を射てくれるからだ。
 ・幼い者に話をする人——親や嫁母や教師や童話家は何時も恐らく此二つの岐路に立つてであらう。何故なら幼ない者はその話によつて或は不健全になり、或は一生活明るい指標の下を辿るであらうからだ。

實物提示 幼兒に聽かせる話
 久連松弘先生著 價二・三〇 送二

愛兒讀本 カタカナノ巻 小野政方先生著 價各〇・九〇 送各〇・八

幼稚園ばなし 長尾豊先生著 價一・八〇 送一四

幼稚園や生活圖畫指導 三森連象先生著 價二・六〇 送一四

幼稚園おゆうぎ 長尾豊先生著 價一・〇〇 送一〇

幼稚園の舞踊 石井小浪先生著 價〇・八〇 送〇八

幼稚園おはなし 長尾豊先生著 價一・五〇 送一〇

幼稚園教育の實際 永澤義憲先生著 價一・八〇 送一四

東京・麹町・下六番町

厚生閣 電話九段三二一八番 東京東區東橋



た
た
か
ひ

た
け
な
は

(園 稚 幼 属 附)

幼 兒 の 教 育

昭 和 十 年 六 月

汗

子ぎも達の可愛い額に汗が見える。拭いてやろうとしても馳けて行つて仕舞つて、また一さしきり汗をかいてゐる。砂場では砂の手で日灼けの頬がよごれたまゝになつてゐる。大積木を抱きかゝへて汗を流しながら運んでゐる。角力をこつてゐる子の白地の上着が汗でぐつしよりになつてゐる。

額に汗するこいふ言葉は、大人の實生活に於て、勤勞を禮讚する言葉である。子ぎもの遊戯生活が大人の實生活と同じ貴さをもつてすれば、子ぎもの汗も同じ貴さをもつものである。

汗の出る程遊ばない子、遊べない子、汗の出ないやうに靜かにばかり座らせられてゐる子、汗を出すに叱られる子、これも禮讚に價する子ぎもの生活こいへない。この子ぎもにも、存分に汗するほぎの生活をさせてやらなければならぬ。

それにしても、六月の日盛りを、汗する子ぎも等こ俱に遊んで下さる先生方の汗は貴い。

行き過ぎた幼児教育

目白幼稚園
和田 實

幼児教育の必要なところが、稍々知れ渡つて來た云ふことは、誠に悦ばしき現象であるが、是と共に、動もすれば、其効果を過信するものが出來て、幼児教育さへ確やり行れば、其他の教育は少々不完全でも善い、云ふ様な考へを持つものが出來たり、或は少年教育、青年教育でなければ出來ない様な教育事項を幼児教育の中に持つて來よう云ふ氣の早い連中が出來たりすることは、一利一害の伴ふ世の中で、止むを得ないことも知れないが、誠に困つた問題である。幼児教育は基礎教育であつて、決して完成教育ではない。幼児教育は凡ての教育の基礎工作として役立つには相違ないが、決して、教育の本工作としての仕事は何一つ出來るものではない。幼児教育は感化誘導を主とする教育である。自覺誘導を主とする學校教育は文化を直接に傳授することに困つて、急速に、教育の目的を達することが出來るが、無意識的に感化誘導する云ふことは、急速に、目的に向つて突進することも出來なければ、嚴格な目的を立て、之を徹底させる云ふ譯にも行かないものである。何故夫れが出來ないか云へば、夫れは、幼児の智能が發達頗る未熟だから云ふより外仕様がない。故にこそ、學齡云ふものが、七歳以後に限定されて居る次第である。然るに、此根本的の限度や範圍を考へないで、幼児現在の發達を無視して、小學校や中學校などで、當然、考へられ、施されなければならぬ様なことを幼児

教育に持つて来よう云ふものがありましてら夫れは骨折損の草臥もうけに終るに過ぎぬことではあるまいか。此一つの例として、幼稚園に於ける「情操教育」を擧げたいと思ふ。

抑も、情操云ふものは唯の情緒でもなければ、直觀的初等感情でもない云ふことは心理學を學んだことのある人の誰もが承知して居ることで、高等な理性の發達に伴ふ感情で、情緒生活が、幾多の洗練を経て、始めて、到達するところのものでなければならぬ。従つて、理性の發達の充分でないところの幼児に、直に、情操教育其ものを施さうとするところは、無理な註文云はなければならぬ。幼児教育は文化の傳授には極めて無力である。文化財産の傳授は何として學校の仕事であつて、幼稚園の仕事ではない。此文化財産の傳授に伴つて行はる可き情操教育は到底幼稚園の仕事ではないのである。然るに、過般、大阪市に於ける全國幼稚園關係者大會に於ける文部省の諮問案に對する答申案を見るに、此情操教育が當然幼稚園に於いて、完全に行はる可きものであるとの確信の下に、凡べての計劃が行はれて居るやうである。是は吾人の見るところよりすれば何うしても、行き過ぎた幼児教育云はなければならぬ。斯かる行き過ぎた教育に餘計な浮き身を窶つすよりは、問題の子供の取扱方でも、研究した方が、何の位効果があるか判らぬと思ふ。

文部省も「幼児の情操陶冶に關し保育上特に留意す可き點如何」を諮問して居るところを見るに、幼稚園に於て、當然情操教育を爲す可きものを見て居る様であるが、若し果して然りすれば、文部省は何か考へ違ひをして居るに、云はなければならぬ。吾人は過般の大會に於いて、大に此點を文部省に質問して然る後に、答案を練る可く心構へして居つたのであるが、文部省は諮問案の出し放しで、何等の説明もせず質問も受けないので、大に期待を逸して仕舞つた。併しながら、文部省諮問案の如何に係らず、幼児將來の情操教育を考慮して、善良なる道德的環境の中に、趣味豊富なる生活を味はせて、其純良なる天真を發揮せしむることは、極めて必要な事であり、大切なことであるから、此點から考へれば答申案其

ものは必ずしも、排斥す可きものではなく、否、大に共鳴する所があるのではあるが、斯る答申案を作つた、其影に隠れた思想、即ち情操教育其のものが、當然、幼稚園の仕事であり幼児教育の責任であるかの様に黙認して居ることに、吾人の不満はあるのである。

人或は云ふ。生活は直接に感情を陶冶することが出来る。文化財産を傳授し得ずとも、文化生活を送ることに因つて、文化的陶冶を受けることが出来る筈である。故に、趣味多き生活の中にあれば趣味を覚え、信仰生活の中にあれば敬虔なる性格は養はるゝことは疑ひない。誠に尤もな次第云はねばならぬ。併しながら、是も決して生活者の智能を無視しては云はれぬことではなからうか。文化生活の中にあつても、其文化生活を理解することの出来ないものに、果して是だけの陶冶効果があるだらうか。吾人は之を否認せざるを得ない。如何に文化生活をさせ信仰生活をさせるにしても、其生活を理解し、其信仰を信仰づけるだけの理解なくして、決して其生活を固定出来るものではない。故に、生活することに因つて、直接に感情の陶冶を計る云ふには限界のあるもので、決して無限の效力を有するものではない。其限界は何處か云へば即ち幼児の智能の程度即ち夫れである。幼児に此理解なくして、決して陶冶的效果のあらう筈はない。尤も、此理解云ふことは何も論理的證明のみ云ふのではなくて、臆ろげに、蓋然的に解る程度で差支ないのであるが、兎に角、理解や洞察なくして、決して出来るものではないので、其理解が深ければ、深い程、明確なれば明確な程、其陶冶的效果は深く且明確に出来る譯である云はねばならぬ。斯様に生活其のものが、直接に感情陶冶に、効果を及ぼすにしても被教育者の智能の發達云ふものが、根柢なる云ふことは、何の道、度外視することは出来ぬものである云すれば、高等な理性的發達に伴ふ可き情操教育が、幼稚園の如き智能の發達の少き時期に於いて、さしたる効果を擧げ得ない云ふことは當然過ぎる程當然なことではあるまいか、勿論、夫れが爲めに情操教育は幼稚園に於て考慮する必要なしなき、極端なことを云ふので

は、決してない。否寧ろ、幼稚園の如き生活即教育の建前を以てする教育の仕事としては情操陶冶の如き相當の考慮を要し、夫れに對する基礎工作の必要あるは當然のこゝではあるが、情操教育其ものが、幼稚園教育の本務であるが如き思想は之を是正しなければなるまい。文學的情操は文學を理解するこゝに因つて出來、美的情操は美を理解するこゝに因つて出來る。眞理が正義に對する情操にしても、眞理の何ものかを理解し、正義の何物であるかを理解して始めて出來るこゝのものであつて、學術の理解なく、美の理解なく、正義の理解なくして、是等のものに對する情操の出來る譯はない。幼稚園では等のものに對する臆げな理解を興ふるにしても、其は極めて臆ろであつて、殆んど云ふに足らぬ。従つて、幼稚園に於いて養ひ得るこゝろのものとは極めて、臆げなる情操である。寧ろ初等感情や生活感情に過ぎぬ程度のものである。元來、幼兒の生活は主として情緒生活である。日々繰り返さるる感情は情緒の範圍を越ゆるこゝは殆んどない。之を洗練して情操の程度に迄鍛ひ上げるこゝは容易な業ではない。是は主として少年時代青年時代の教育に俟つ可きもので、到底、幼兒教育の能くす可きものでない。幼兒教育は後來の教育の準備工作として、初等美的感情や根柢的道德感情を培養して、後來發達の基礎を作るこゝに専念しなければならぬ。是が、幼稚園教育の使命である。此使命を忘れて、直に、教育の本工作に參與しやうとするのは、少し、早計に失する。幼稚園に於ける觀察は理科の教授では無く、單に、理科的興味を培養するのが目的である様に、幼稚園の唱歌や音樂は、文學や音樂の教授ではなくて、唯、其興味の培養に過ぎぬ。其他製作にしても、舞踊にしても、談話にしても、皆其興味の生活を豊富にし、感情的生活を多面にして、後來の發達活動に自發的基礎を確立させ様云ふのが究極の目的であつて、教育の本工作として決して居るものではない。然るに、文部省の諮問に對する大會の答申案を見るに、情操教育其ものが幼稚園本來の使命であるかの様に見える。思ひ過ぎた教育、行き過ぎた教育云ふ所以である。

夏の幼年童謡の中より(上)

葛原 し げ る

『幼児の教育』に又何か書けよの御達し。何でも書きますが、何が宜しいでせうかよ、問ひに大塚の新校舎へ寄りましたら、何でも心まかせに、よのこよ。それに却つて困つて、さて何善けむ、よ数日は考へてみまして、『童謡四季』も題して、四季折々向の童謡のよこよでも書かして頂きましたら、實際保育に當つてをられる方々の御参考にもなりませうかよ、拙作の中を涉獵してみますよ、意外に、夏季向のものゝ多いのに驚いてをります。一體、夏は、自然界の物みなが繁茂し、繁殖するよき、そして、人間も、家の中に引籠らないで、自然界に接する機會の多い時、殊に、子供は、一日中、外で遊びたがる時、遊ばせたい時、自然觀賞に最も都合な時——私も、よく外で遊んで大きくなりましたから、夏季のものが多かったです。今年、私も、童謡作詩生活の二十五年目に當るさうです。その二十五年間に、幼児向に作曲付で發表しましたものゝ中から、少しづつ引用してみませう。他の作家諸君のものも引用すれば、最も善いのですが、近年、著作權法なきゝ六かしい事がありまして、轉載なき遠慮しなくてはならないのですから、少し、氣が引けますが、拙作のみになりますよこよを、御諒承願ひます。

*

*

*

*

「夏が来た」に感ずるのは、まづ何によりますか。都鄙の別なく、道ゆく人のバラッソルからか、子供のストッキングが短くなるからか。それとも、氣早の青年の麥藁帽からか。十數年前、ふい、

「もう、夏ですな」

こゝ、人から話しかけられたのは、その人が、燕のこぶのを目の前に見た時のこゝ。まここや、燕の翅に、夏は乗つて來るのでせうか、風も心地よく。

これは、はや、二十年もの昔の作ですが、思ひ切つて、「急行列車」だの「一目散」だのこゝいひ、「第一等」こゝさへいひました。

由來、鐵橋を「くろがねのはし」こゝいふのが却つて六かしいのであり、「はまべ」こゝいふより「海岸」こゝいつた方が、幼児にも、正しく、明かに了解される様に、他に、適當な詞はないのです——「急行列車」、「一目散」、そして、「第一等」。かの「飛行機」に至つては、全然、他の語を求め餘地ありません。

かくて、第一節では、燕の飛翔の非常に速いこゝをいひ、第二節では、燕の形態の描寫もしておきました。

「翅は黒くて 黒光り

お腹は白くて 雪のやう」

こゝは、ちこ翁してゐますが、光澤のある事、腹の白い事だけは、見落してならない點であります。又、

「尻尾は二つに割れてゐて」

も、他の何鳥にもない特色ですから、此の童謡を、幼時から、理窟なしに覚えしめ得ますならば、小學校の博物に於ても

助かりませうし、また、「自然の神祕」を感じさすためにも、多少の役目を果すことが出来ませう。

さて、その結句の、

「燕はほんごに速い鳥」

は、をかしいですね、何も、翅が黒く光つてゐて、お腹が白くて、尻尾が割れてゐるから、それだから、燕が、速いのでありません。此の表現では、「——割れてゐて、それで、ほんごに速い」「ごいふ様にも聞えます。それは、却つて、「割れてゐても、それでも——」「ごいふべきではないでせうか。即ち

「——二つに割れてゐる」

ごいふべきではないでせうか。さうしても、此の曲なら、無理もなく、歌へます。

つばめ 小松耕輔氏作曲

電信線に三四羽の

燕がしまつて チビくくく

何の話か チビくくく

見てゐる中にごび出した

急行列車か 飛行機か

古巣のおうちへ 一目散

燕の體は 小さいが

空をひらいて 第一等

翅は黒くて黒光り

お腹は白くて雪のやう

尻尾は二つに割れてゐて

燕はほんみに速い鳥

(「大正幼年唱歌」第五集)

夏の神祕は、夜の螢です、螢の光です。螢の熱を伴はない光です。科學の今の世に、こればかりは、人智の中々及ばぬ
さいふのですから、螢は、ゐばつてゐます。あんな小さな蟲でありながら、靈長である三萬物に威張つてゐる人間を尻目
にかけて。日暮さへ來れば、

ピカリ、ピカリ

スーイ スーイ

です。ほんみに、不思議な夜の蟲です。

「一體、螢の飛ぶ様子を、スーイ スーイといったものは、他にないね」。

さいつて、ひびく、ほめて下さる方があります。何も、おほめには當りませんが、光つて、きえて、また光つて、きえる
間に、場所をかへて、必ず、スー、スーと進んでゐる様子は、さうしても、

スーイ スーイ

さいふ感じです。これを、誰かゞ、真似てゐたさいつて、何だか、その詩人が、私の特權を侵害したかの様に謂ふ方があ
るのですが、螢の飛び方は、暫らくおいて、あの光は、「ピカッ、ピカッ」、又は、「ピーカリ、ピーカリ」、でせう。その

「ピカ」は、誰の特権でもありません。同じく、「スーイ スーイ」こいふ表現も、天下のものです。それとも、特殊の謂ひ方でせうか、私は、一度、幼児をつれて、螢狩に行つて、幼児が何こいふか、心して聞いてゐて、何か、もつこ善い表現の「ヒント」を得たいと望んでゐますが、東京生活三十年、いまだ一度も、螢狩に出かけた事がありません。

ほたる

小松耕輔氏作曲

ピカリ ピカリ

スーイ スーイ

光つて

消えて

また光る

螢がこべば

おもしろい

ピカリ ピカリ

スーイ スーイ

(「大正幼年唱歌」第二集)

夏の自然界は、まごみに不思議つくめです。あの、蝸牛は何うです。自分の家を自分の脊中に脊負つて、引越すのも愉快だし、殊に、長い柄のついた眼を、振り廻しながら匍つて行くぜ、いたくは、他の何にもないこみです。(いえ、只一つ、蟹がりましたね。柄のついた眼の持主は)しかし、蟹のあわてん坊と違つて、蝸牛の、悠々迫らず敢て急がず、下に居れ、下に居れ、そこからあたりに、無禮者がゐないかこべかり、探照燈を、右に、左に、高々こ揚げて、前面左右を照らすこ

ばかり、乙に構へて、ぢりり、ぢりりミ匍つて行く豊かな態度ミいふ中にも、眼の柄の伸縮屢々にして、後には、首まで縮めてしまつて、更に、外敵去らずミみれば、斷然、決心して、家諸共に、地球の引力のまにく、引かれて、轉んで落ちて行く英斷力の憎いほきであるではありませんか。白状しますが、私は、大きな藪を北に脊負つた古い屋敷の家に生れて大きくなりましたので、よく蝸牛ミ遊びました。長い塀の筒瓦の上を、匍つて行く蝸牛を發見するや、いろくゝの惡戯をして、だまつて、一人で遊んでをりました。いえ、蝸牛君ミ二人で、です。時には、母の裁縫箱から、鋏を持ち出して、蝸牛の眼玉の長柄を、手速く、チョキンミ切つたこも、二匹や、三匹ではありません。のち、罪深い兒は、母に吐られて、吐られて、「生きてゐる蝸牛の眼を切るこは―」ミ、ひきく吐られて、

「死んだ蝸牛は、角を出して呉れんがな」ミいつた私でした。お許し下さい。近頃は、絶対に、そんな事はしてをりませんから。

かたつむり

小松耕輔氏作曲

お庭の隅の かたつむり

眠つてゐるかミ思つたら

貝の家から ぬけ出して

獨 で靜かに 匍ひ出した

お家を脊負つて 匍ひ出した

ここへ行くのか かたつむり

頭の先には 知らぬ間に

二本の 長い角が出て

角の先には 目があつて

見まはしながら はつて行く

角は のびたり ちよんだり

目は かくれたり 出て來たり

(「大正幼年唱歌」第五集)

次のは蝸牛に同情してゐるのです。決して、角を切つてやるから、そら出せ、やれ出せといつてゐるのではありませ
ん。

「おなかゞ すいたら 何をやる」

こまで、いつて、苦心してゐるのですから、さうぞ、私の昔の、やんちやをお許し下さい。

いそげよ でで蟲

小松耕輔氏作曲

急げよ でで蟲

日が暮れる

せい出せ 角出せ 力出せ

お家を せおつて 唯一人

ここまで行くのか

引越しに

すべるな 高いぞ

竹の垣

結び目 縄目に つまづくな

てうちん かさうか 灯をやるか

おなかゞ すいたら

何をやる

(お山の細みちより)

夏の世界に、幼児の友として、春のおたまじやくしと同じく、「かへる」がります。圖らざる時、圖らざる場所に、一匹の蛙が両手をつけてゐるのです。それは、墓は違つて、さつきから、ついてゐる両手ではないのです。ピョーンと、全力をあげて、幅飛をするやうにジャンプして、そして、次のジャンプをする前に、少しく、方向が不安なのか、時々眼玉を、くりくさせては、考へる様子です。しかし、これは、棲家である何處かのお池をさして、歸つて行く途上なのです。

近頃、この第一節の第三行第四行の初の

「かへる、かへつて——」

の「かへる」が、問題になりました。「蛙」でなくて「歸る」を考へられて困りましたから、假名で書かないことにしました。

かへる

一つきんでは 両手について

何か考へ 考へながら

蛙　ぎこまで　歸つて行くか

蛙　かへつて　何して遊ぶ

池へ歸つて　游いで遊ぶ

池は私の　生れたまころ

池の友達　遊びが上手

池へ歸つて　皆こ遊ぶ

(「大正幼年唱歌」第二集)

蛙の聲は、いろいろに聞えますし、また、事實、いろいろの鳴き方もし、いろいろ違つたのもありますが、生まれ、蛙の群の夜の聲は喧しいこころです。騒々しいこころへば、私は、先年、鹿兒島のさる講習會で、大きい旅館の別邸に泊められて、その泉水に、蛙の一族がゐて、しかも、夜一夜、一家總出の大喧嘩でもやらかしてゐるかの様に、枕下で、鳴きつづけられて、閉口した事があります。全く以て、「ゲゲゲのグググ」。「ゲゲゲのグググ」。「ゲゲゲのグググ」、何時間たつても、「ゲゲゲのググ」なのです。こころは、蚊帳の中で、「ゲゲゲのグググ」——それが止んだ頃には、夜が明けてゐて、私は、講習會からつても、蛙家一族は、よくも疲れず、「ゲゲゲのグググ」——それが止んだ頃には、夜が明けてゐて、私は、講習會からの迎車に乗らねばならぬ時が近いのでした。きつこ、あれは蛙の母さんが、子供蛙に約束の土産を、途中で食つてしまつたので、親子で、喧嘩でも初まつたのでせうか。

ゲゲゲのグググ

小松耕輔氏作曲

蛙　ヒ　コ　ヒ　コ

一二三　コ　三二一　コ

四ヒヨコ 五ヒヨコ

六七ヒヨコ

八ヒヨコ やつこらさこ

お池に もごりや

池ちや 子蛙 ゲゲゲのゲゲゲ

お土産 何こ ゲゲゲのゲゲゲ

頭 ヒヨコノ ゲゲゲのゲゲゲ

またも ヒヨコ ヒヨコ

二ヒヨコ 三ヒヨコ

四ヒヨコ 五ヒヨコ

六七ヒヨコ

八ヒヨコ やつこらさこ

母さま蛙

土産や 途中で ゲゲゲのゲゲゲ

道が遠くて ゲゲゲのゲゲゲ

たべてしまつたこ ゲゲゲのゲゲゲ

(土筆と山羊)

月夜の蛙は、また、のんびりしてゐます。池に浮んだ月の影をみて—いかにも涼しそうに、影をうつした月のやさしさ

に、甘えた子蛙がお月様に、負んぶして頂きたくて、ざんぶさばかり、お池にまびこみましたら、月の影は、きらり、きらり、砕けて、さて早くも空へ歸つてか、ニッコリ、ニッコリ。

「おーや、お月さんは、もう、あそこのー」を、蛙の子供は、いそ、のんびりしてゐます。

蛙の子ごも 小松耕輔氏作曲

蛙の子ごも

お月さんに おんぶ

お池に浮んだ

お月さんに おんぶ

お月さん 目がけて

お池に ざんぶ

空から お月さん

それ見て 笑ふ

こゝまで お出でこ

につこり 笑ふ

蛙は 空を見て

「お月さん 早いな」

(「お山の細みち」より)

夏の人間世界は、何をしてゐても善いこゝです。何處にゐても善い事です。それで、人間は、いろいろの工夫をこらし

そして、網を張つた蜘蛛の家の真中に、ありつたけの脚を皆踏ん張つて、るばつてゐる蜘蛛は、何を氣取つてゐるのでせう。人間ならば王様氣取り、いえ、子供からいへば、王子様氣取り。

くもの王子

小松耕輔氏作曲

朝日がさして

きいら きら

五色の絲のハンモック

眠つて ゐるのか

王子様

八つ脚 ひろげた王子様

朝風吹けば

ゆうら ゆら

楽しい夢を 破られて

怒つてゐるのか

王子様

八つ脚ひろげた王子様

(「ケンく子雉」より)

幼兒童話の特殊性

聖美幼稚園 内山 憲 堂

序

童話を話す場合、童話を論ずる場合、童話を取り扱ふ上に一番大切なことは年齢を基礎とすることである。年齢を無視して童話を話し、童話を論ずることは、目隠しをして真剣勝負をするよりも危険である。幼兒には幼兒の心理があり、幼兒の語彙があり、少年には少年の心理があり、氣持ちがある。

幼兒童話が今日まであまり等閑にされすぎてゐるが、幼兒を取り扱ふ者のすべてが、これに留意し、これの研究と實踐に進まなければならぬと思ふ。

本誌編輯部からの御依頼があるまゝに、極めて簡単に、幼兒童話の特殊性について述べることにする。

一 不合理性

不合理性とは現實を離れ、非科學的非現實なことであつて、實際に於ては出来ないことである。例へば桃の中から子供が生れたり、猿と蟹とが話をしたり、寝てゐる狼のお腹を鋏で切つて、喰べられてゐた子供を出してその代りに石を入れて、縫ひ合しても、狼は目を醒さないで寝てゐる云ふやうなことである。

この非現實は幼兒の場合には許されるものであつて、幼兒はその非現實を、一向に非現實とは考へないのである。これは主として彼等の想像力の働きが旺盛なためである。

彼等自身の日常の生活を見ても、その行動、言語中には現實ミ空像ミが常に混合してゐることを知るであらう。想像の世界は幼兒のみが住むこゝの出来る、最も自由にして、最も大きい天地である。徒に大人の考で「科學的に」童話を取り扱つたら、實にひからびた人生となるこゝであらう。

二 誇張

幼兒は童話中の人物について、その極端であるこゝをよろこぶものである。大きいものは非常に大きく、小さいものはうんこ小さく強い者はミても強くなければならない。

桃太郎や金太郎はごこまでも強く、ごんなこゝがあつても決して負けるやうなこゝがあつてはならない、一寸法師は小さければ小さい程、幼兒は興味を感じるのである。

それから人物の個性が極端で誇張的でなければならぬ。悪人は常に悪く(但し最後に善人にする)善人はごこまでも善人であつて、「善人であつたけれごも、義理のために悪行爲をした」ご云ふやうなこゝは幼兒童話には適さない。

誇張法は一種の修辭であつて、古來より多く用ひられて來た「白髮三十丈」「天地に響く大音聲」「怒髮天を衝く」の如きもや馬太傳の「富める者の神の國に入るよりは駱駝の針の穴を通るは却つて易し」の如きこれである。

川柳ではこの誇張法を上手に使用してユーモアな味を見せてくれてゐる。

祭から戻るご連れた子をくばり

傀儡子十里程來た立すがた

張物をいけごりにする俄雨

武藏坊水車程しよつて出る

大三十日首、でも、取つて来る氣也

三 韻律的

幼児童話にはリズムが必要である。リズムとは音の高低の反復であつて、「桃がドンブラッコッコスッコッコ流れ来てました」こか「鉄でチョツキンチョツキン、チョツキンチョンこ切りました」こか云ふが如きである。

幼児は實にリズムを好むもので、幼児が童話を好むのは、そのリズムに興味を持つが故である。

擬聲や模聲も一種のリズムで現はされる場合が多いから大に取り入る可きである。それから子供の遊び歌（天神様の細道、子取ろなぎ）や民謡や童謡なぎを話の中へ取り入れるこは必要である。

童話を聞き始めた幼児は、殊にリズムを中心とした部分的な興味を持つものである、故に話全體の筋に、小々不合理なところがあつても、そんなこには關心を持たない。

幼児が同じ話を何回しても聞くのはこれがためである。「先生、その話は一度聞きました」こか「そんなこがあるのですか」こ聞くやうになつたら、もうリズム愛好期を離れて筋に興味を感じるやうになつて来たのである。

四 反復

反復も一種のリズムを見るこが出来る。反復には言葉の反復と筋の反復とがある。

言葉の反復と云ふのは同じ言葉が繰り返へされるものであつて「桃太郎」の話にすれば、鬼征伐に出かけるこ、犬が来て「桃太郎さん桃太郎さんごちらへおいでになりますか」「鬼が島へ鬼征伐に」「お腰のものは何んですか」「日本一の吉備團子」「一つ下さいおこもします」「そんならやるからついて来い」こ吉備團子を貰つて行く、次に猿が出て来て、犬と同じ言葉を繰り返して吉備團子を貰つて行く、次に雉が来て、同じ言葉を繰り返して吉備團子を貰つて行くのである。大人の場合には

最初の一つだけで後は略されるが、幼児の場合は同じ言葉が反復されることに興味を持つのである。

筋の反復は一郎、二郎、三郎が同じ行爲をしたり、同じ事件が繰り返へされたりするもので「三疋の小豚」や「イワンの馬鹿」「三疋の熊」の如きものである。

言葉の反復に當つては出来るだけリズムカカルに、筋の反復に當つては事件を出来るだけ同じ言葉によつて表はして行くことが必要である。

五 明快性

幼児の童話は明るく朗らかでなければならぬ。朗らかであれ云つて、單に、面白い態度や、變な言葉によつて笑はず云ふことではない。話者自身の氣持を明るく持つことによつて話が明るくなるのである、心配事があつたり、病氣で元氣がなかつたり、不平を持つたり、いや／＼話をしたりすることはいけない。

童心を持つて話さなければならぬ、童心とは成人の心理の中に消え残つてゐる兒童時代の心理生活の遺跡である。童心は誰の心にも、氣づかれないやうにかくれてゐる、誰れでも童心を持つことが出来る、童心を持つ云ふことは子供の心と融け合ふことである。

話の筋にも明快さを必要とする、殘忍な話、センチメンタルな話、憂鬱な話などは絶対に禁物である。幼兒童話に於ては必ずハッピーエンドであることを要す。即ち善人は榮え惡人は改心してめでたしめでたしで終結しなければならない。

六 單純性

幼兒童話は出来るだけ單純でなければならない、單純にするためには、

1、筋が錯雜しないこと

込み入つた筋ではいけない、どこまでも主人公を中心として事件が進んで行き、本幹から枝が澤山に出ないやうにするところが必要である。

2、出場人物を少く

出場人物は出来るだけ少数にする必要がある、中心として活躍する人物は三人か五人止りであつてほしい、ここに名前のついてある人間にあつては、出場人物が少くないと、人名が混同する憂がある。

3、人名、地名の簡略化

人名や地名で幼児には解り難いやうなものは、省略して、覚え易いやうにしなければならぬ、例へば「ヘンゼルとグレーテル」の如きは「平太さんミテル子さん」云ふ風にするとか、「お釋迦様はルンビニーでお生れになつた」云つても幼児には覚えられない、「美しい花園でお生れになつた」云ふ方がよいのである。

七 直観性

幼児童話は直観的であり具體的でなければならぬ。即ち平易な描寫を必要とするのである、言葉にしても幼児が日常用ひる、幼児の言葉がお話には一番適するのである。それと共に抽象的な言葉とか難解な言葉、漢語等は用ひないやうにしなければならぬ。ウォルター、ペーターは「汝が語らんを欲する所のものは、これを最も簡素な最も直接的な、最も正確なる方法によつて言ひ表はせ」云つてゐる。

ゼスチュアールも出来るだけ直観的な表現をしなければならぬ。

八 親密性

幼児に親し味を有するものを持つて内容が作り上げられなければならない。童話は児童の生活である、幼児童話は幼児

の生活である、彼等の生活範圍に於て描かれた話でなければならぬ。

幼児の經驗は大人に比べて非常に少い、しかし鮮少であるだけ、經驗事象に對して大人より以上によるこびに親し味きを持つものである、それ故童話の内容に於て親密性が多ければ多いだけ幼児の興味は大きなるものである。

出場人物にしても、幼児の熟知し親し味のあるものがよい、即ち幼児に親し味のある動物——兎、猿、犬、鳩、猫の如きもの、幼児と同年配の子供、又は老人なきが選ばなければならない。

「キャザー」は次の様な實例を示してくれてゐる。

ニューヨークのある有名な童話家が、アンデルゼンの「醜い家鴨」の話をした、筋も面白く話し方も實に巧妙であつたけれども子供たちは何等の興味も持たなかつた。この話者の失敗の原因と云ふのは、ニューヨークの中央の子供たちは家鴨に對して、實感を持つてゐなかつた、即ち家鴨の生活は未経験の世界であつたからである。

幼児を取り扱ひ、幼児に日常接する者は、幼児の經驗範圍内の事項をよく知つてゐる。常によく幼児を観察すれば我々は幼児に教へられる澤山の事があるのに氣がつくであらう。

九 活動性

幼児は自發活動の旺盛な時期である、故に童話に於ても、彼等の活動性を満足させるやうな變化を必要とするのである。童話の活動を構成する要素について考へて見るこゝ。

1. 人物の活躍

こゝに主要人物(主人公)が常に活躍してゐなければならぬ、「桃太郎」「かちかち山の兎」「狼と仔山羊」の一番小さい山羊等内外の話を見てもよく活躍させてゐる。

2、筋の變化

事件が次から次へ進展して行かなければならない、筋の進展には漸進法を用ひ小から大へ進ませることが必要である。そして想像的要素と神秘的要素と驚異的要素と冒險的要素と滑稽的要素が適宜に加味されて話を美化しなければならない。幼兒の話は谷間に咲いた一輪の白百合の美ではなく、春の野に咲き亂れた菫、蒲公英、蓮華草でなければならず、そうすれば幼兒は花の中を自由に駆け、寝ころんで思ひ切り春の自然の懐にいだかれるよるこびに浸るであらう。

3、表現上の變化

表現上の變化としては音聲の變化とセスチュアーである、變化のない單調な音聲は(イ)厭かせる、(ロ)興味をなくする、(ハ)注意力をなくする、(ニ)疲勞の程を強める、等の不利がある。音聲の變化を長短、高低、強弱、緩急なき自由、そして自然に使用しなければならぬ。それと共に對話法、擬聲、模聲、ポーズ(間)等を上手に用ひ、これを助けるに變化あるセスチュアーを附加されて話を立體的ならしめなければならぬ。

十 詩的正義(道德性)

童話には詩的正義を必要とする。ここに幼兒童話には必ず含まれなければならない。童話にありては正しき行爲は褒賞せられ、邪惡なる行爲は必ず責罰せられなければならない。この道義的な理法が嚴然として確立せられることによつて兒童は情緒的満足と道德的満足を感じるのである。

勿論童話は生活であり人生の縮圖であるから話中に善人も出れば惡人も現はれることがあらう、嘘をつく子供も出れば、盜人も出るであらう、しかし、最後に於て、惡人は必ず失敗をするか、改心するかさせなければならぬのである。

これが童話の道德的であり、教育的である所以である。「これだから皆様も狼の様に悪いことをしては……」なきに強ひ

て教訓を附與する人があるがこれは詩的正義が童話に存在する以上無駄なこゝみである。

それから童話はその成立に於て未開人の信仰から生れたものであるから、可成り現代の道德から見て正道を外れてゐるものがある、例へば「かちかち山」の如き殘忍性を有するもの、「ヘンゼルミグレーテル」の如き繼子いぢめのもの、なごは之であるが、これはその時代の道德觀念からは左程、惡徳ミ見られてゐなかつたにちがひないが、現代には容れられないこゝみである、この點は大に注意して改作を加ふ可きである。

今一つ考へなければならぬこゝみは國民性ミ云ふこゝみである、これは幼兒童話に限られたこゝみではないが外國童話を取り扱ふ上に我國民性ミ合はないものや、我國體ミ相容れざるものがある。外國の王様の觀念はそのまゝ日本に持つて來るこゝみは非常に危險な場合が多い、故に外國の話をする場合我國情に合ふやう改作する必要がある。

結 び

以上十項に渡つて幼兒童話の特殊性を略述したのであるが、幼兒を取り扱はれ、幼兒童話をなさる方は、この特殊性を生かして、幼兒童話に一層の動きミ美しくさを加へていたゞくこゝみを念願して筆を擱く。

都市幼児教育の問題 (三)

——或る講習會の速記——

倉 橋 惣 三

(五) 中の言葉

お互の——都會の——幼稚園或は低學年に参ります子供は、そこへ来る前に、都會生活の中かなり無理な目に遇つて居ります。そこを充分に理解し或は察してやり或は愛へ或は心配し考慮してやらなければなりません。早い話が、皆さんのお宅へ親類の子供が遊びに來ました時に、その子供が腹が空いて來たか、腹がはつて來たかといふことは、やさしいおばあさんのお氣を付けになる第一のここかと思ふ。たゞ自分のご馳走ぶりを見せたいといふだけのおばあさんならば、兎に角食べさせやうと思つてこれだけのご馳走を拵へたのであるから、食べてくれなければ私が困るを仰しやるが、子供の方では生憎今日は腹がはつて居れば、それは甚だ迷惑なご馳走でありませう。都會の子供が都會といふ文化過重の場所に於きまして、かう申しては云ひ過ぎるか知れませんが、食へるものでも、子供に不適當なもので腹が一ぱいになつて居る時に、又幼稚園の方で結構なものではありませんけれども、その上にもう一つ詰込むだけが深切な遣方でもなからうと思ふ。今日はおばあさんは御馳走しない。一つあなたの腹を空かしてあげるのがあなたに對する御馳走だといふのも宜しいでせう。かういふ御馳走なら非常に樂であつて、さうか腹の出來た方は私の處にお客にゐらつしやれば、幾らでも腹を空

かして差上げます。所謂向ふ本位にして考へる深切な扱ひとしては、さうも云へるのではなからうかと思ふ。

唯今もあちらで話が出たことでありましたが、皆様は都會の家庭から來ました子供を、さうもこんなことでは教育的にまる切り放任されて居つて困るまいので、その上にその上に良い教育を少しでも多く與へてやらうと御深切にお考へ下さる。これは眞にありがたいのでありますが、中々皆様が與へやうとお思ひになりますやうな結構なものを、子供達は満たされては居りませんが、決してうつつちやり放しにされて居るのではない。野原で牛や鳥と遊んで居りました子供とは違ひまして、自分の欲しくもない、ふさはしくないものを澤山に詰込まれて居る——詰込まれて居るまいふことはつまり空つぽで來て居るのではない、放任されて居るのではないことでもあります。そこでそれを一つ何かして腹を空かせること云ひますか、極端に云へば、その毒を取つてやること云ひますか、かう云つたやうなことは都會の幼稚園に於ては非常に考慮すべきことであらうと思ふ。かういふことが前申上げた要旨であつたのであります。

その點から考へてみまして、今日の都會幼稚園が幼稚園本來の意味として、保育はかうすべきものであるまいので、たと單にそれを完全に行ふまいふことでは濟まない。出来るだけきちんと保育する方が宜いのでありませうけれども、併し已にきちんとさせ過ぎて居る子供には伸びやかな所を與へたい。色々筋肉も細かに發達させてやりたいのでありませうけれども、併し末梢神經の多く疲れて居ります子供のためには、體に一番缺けて居ります根本の筋肉の發達の方に考慮を拂はなければなるまい。かういふ所からしまして或は幼稚園に於ける遊戯と云つたやうなものを、出来るだけ細工で大きつぽで大掴みであることを必要とするまいやうなことも申上げた譯であります。

(六) 基本性情の涵養に關して

その意味から考へまして、次に幼児の基本性情の涵養といふ問題に入つて來るのでありますが、幼稚園令にも特に擧げてあります通りに、善良なる性情を涵養するといふことは、幼稚園の大きな任務であります。幼稚園の任務であるといふよりは、あの子供達を考へなくても、これは教育の任務となり得るものかと思ふ。一體人間を教育するにはどうしたらよからうかといふことを、相手を見ないで考へてみましても、善良なる性情を涵養したいといふことは誰も氣が付くことではありませんし、教育の目的といふものは、殊にさういふ行き方で掲げてある場合が多いのであります。商賣人が例へばご婦人のお召しになります洋服を拵へて置きます時に、かういふ良いものを皆に著せたいと思つて拵へて置く商賣人はなからうと思ふ。お客さまはどんなものを好むだらうか考へて拵へますし、又自分の店に始終おいでになりますお客さまのこゝを考へて、あのお客さまにはかういふのが似合ふだらうこゝ考へて着物を用意するかと思ふ。教育はそこまで相手を十分に考慮しない所が屢々ありまして、誰だらうが彼だらうが、善良なる性情を涵養するに悪いこゝはないぢやないか、その必要であるこゝは勿論ぢやないか、頭からぶつゝけてかゝつて居るような意味の言葉であると思ふ。あの言葉に反對する者は誰もありません。あの言葉が教育的に無用だといふことは誰も考へる者はないのであります。偕て都會の子供に對して善良なる性情を涵養しようとする時には、一體どう考へるのが行届いた思ひ遣りであらうかといふ所に行かなければ、たゞ教育の目的をぶつゝけるだけであつて、その人は教育するといふことにはならないと考へるのであります。殊に「善良ナル性情」といふ言葉の「善良」といふ字が甚だ曲者でありまして、私の如き多少子供といふものに馴れて居ります者から云へば、子供の世界に對して善良といふやうな言葉はうつかり使へないといふ氣持がするのであります。それはお前が少し不善良であるからそんな勝手なことを考へるのだらうと申されますれば、それだけのこゝでありますけれども、我がの考へる善良といふものは大變なものであると思ふ。私が考へるだけでも善良といふこゝは大變でありますから、私よ

りも一層人格思想その他の教養に就いてお努めになつておいでになります皆様頭に響く善良いふものは實に大變なものであると思ふ。そこで善良いふ言葉をマキシムに解釋して子供に持つて行かうとしたならば、それは大變なものであると思ふ、着物を買つてやる場合に、子供であればこそ袖なしちゃんくも買つてやるのだと思ふ。善良なる着物はちやんとしたものが良いでせうけれども、その善良なる理想的の着物を買つて行つて、お前には似合ふまいけれども、三十、四十になれば丁度良くなるから買つてやつたさいふ人はないのであります。つまり善良いふ言葉を道德的な意味に於て一ぱいに考へたさしますれば、これを幼児に持つて行くこは甚だむづかしいと思ふ。

さういふこをたゞ理窟で考へますのみならず、實際に於てかういふ風がありはしないかと思ふ。幼児を訓練する時の態度としては、善良なる性情を養はうとして居ります云へば、それで判を捺して置いても良い程分つて居るこであります、ある方は大變に高い理想をお持ちになりまして、完全無缺の善良ささいふものを念頭に置いて、それを一ぱいに擴げて子供に持つて行かうとする方もあるかと思ふ。道德的ヒステリーいふやうな人にはさういふものがある。(笑聲)特に保育熱心家には相當に道德的ヒステリーがあります。私は決して道德的に誇るに足るものではありませんが、ヒステリーでないこに於ては自ら任じて居ります。極めて健康でありまして、そんなに道德のこを朝から晩まで氣にして居るよゝなヒステリーでないこは確かであります。併し訓練論、道德論いふものを餘りお考へになるお方はさうお思ひになる。私は尋常一年の修身なごの教授を拜見して居りましたが、先生が道德的高潮に達して、(笑聲)完全無缺なる理想の人間にならなければいかぬのである云つて、傍に聞いて居つてはらく／＼するこがあるものであります。やがてはさうなるものでせうけれども、尋常一年や二年で理想的人間になつたら大變なこでありますし、恐らく一生かゝつてもさう理想的にならなくても、お互位の者にはなれるのではないか考へるのであります。

又もう一つのタイプの方は、別にそんなに興奮してお考へにはなりません、善良なる性情が人間が道徳的に正しくなるべきものだといふことに實に慣れつこになつてしまつて、極めて上の空で言つてゐらつしやる。悪いことをしてはいけませんよ、良いことをなさいよ、それは云ふにや及ぶ……(笑聲)いふやうなことをべら／＼仰しやる。人間が道徳的の生活に於て使ひます言葉位びつくりする程大きな言葉を使つて居ることはありません。孔子様にも常嵌らないことを鼻たらしにぎん／＼當嵌めようと思つておいでになります、これは自分が使つて居る言葉の中に自分がざれだけの實感を持つて居るかといふことを反省する人であつたならば、言葉の概念が正しいか正しくないかといふ形式的な反省でなく、生活としての實感をざれだけ入れてその言葉を使つて居るかといふことを反省する人であつたならば、實際きまりが悪くて使へたものではなからうと思ふやうな場合が随分多くあるのであります。さういふ意味からしまして、私は善良なる性情といふ言葉を反對は致しません……幼稚園の教育の目的は良い加減の所に置くべきだといふやうなことは決して申しませんけれども、實際問題として、若い學生などにはあの調子で話をして宜いと思ふが、子供のこゝに就いて苦勞して居りますお互としてこんなことも考へてみたいやうな氣がするのであります。

そこで、善良とは出来上つた後のことであるから、そんなことは後廻しにして置きまして、やがて善良になるであらう所の基本性情を養ひたいと綿密に書いた方が間違がないと思ふのであります。「善良ナル性情ヲ涵養シテ」といふ言葉はさういふ意味でありませう。幼稚園或は尋常一、二年の間に於て性情を完成させようといふことを云つて居るのでは決してないのでありませうけれども、先刻申しました二つの意味に於て、その誤謬が起り易い。そこで叮嚀に、やがて後に善良になるであらう所の基本性情を養ひたいといふ云ひ方をするが宜いと思ふ。

皆さんはそんなことはないかも知れませんが、皆さんのお召物を何處かに染返しにおやりになるこゝします。良い色に染め

てくれ云ひます時に、その染物屋の第一に考へますこゝは、今まで著いて居る色をさうして取らうかといふこゝであるのであります。その上にたゞ色をかけて行くのではない。さうして前の色を取らうかといふこゝである。染物屋が色を取るのであるから、反対の役目をして居るようであります。私は幼稚園に行きました子供が、都會生活の中でその位色々な純良でない所のものを持つて居るかも知れない心配しました時に、先づそれを洗濯してやりたい氣がするのであります。幼稚園の入口に灰汁の桶でも置きまして、子供が來たら一々灰汁抜きをしてやりたい。この頃の幼稚園は實際灰汁が抜けて居りません。子供も灰汁たつぶり、先生も灰汁たつぶり、實に江ツ子がやつて居る幼稚園も云へないような灰汁抜けのしない幼稚園が澤山あります。教育といふものは一體灰汁の抜けない性質が非常に多いものであるが、その所謂灰汁を抜くこゝはあの純良な環境の中から來る子供には必要のないこゝであります。都會では随分大事なことではないかと思ふ。昨夜あなたはさうした？昨夜ね、頻りに隣りで蓄音器でジャズをかけてゐたのでそれを聞いて、私もそれを歌つてゐた。それからお母ちゃんも活動を見に行つて、エロ百パーセントの所を見て來た(笑聲)。子供にはよくは分りますまいけれども、何さなくさういふ飛ばちりを受けて居る。今朝來る途中でも色々な汚いものを見て幼稚園に來た。その時にそれを何さかして灰汁抜きをしたいと思ふのであります。さういふ意味からしまして、善良なる性情といふものをこちらに用意して置いて、善化の上に善化の上塗をする。顔も洗はないで、白粉を塗るさういふやうな下手な遣方をすべきであらうか。まあ、白粉を塗るこゝなきはゆつくりするさして、兎に角塵を拂つて上げませうと云つたこゝも一寸考慮すべきものではないかと考へるのであります。

この意味からしまして、幼稚園では出来るだけ餘り進み過ぎました性情を子供に持つて行きたくないと考へます。これは少し大きな問題になりますけれども、尋常一年の修身教科書なども私はかなり大きなこゝが書いてあるような氣が致し

ます。それを又先生が大きく輪をかけてお話になるような恐れも時々感ずるのであります。

そこでその所謂善良の名に於て、さんく濃厚な性情教育を施した結果は、所謂道德上の早熟者さいふものが出来ま
す。知識上の早熟も實に恐るべきであります。道德上の感情の上に於ける早熟位實に恐ろしいものはないと思ふのであ
ります。之を如何にしたらもう少しノセンスな状態に置くこゝが出来たらうかさいふ所に私共は苦心したのであり
ます。皆さんは幼稚園でかういふ子供に澤山お遇ひにならうと思ふ。さうもこの子は何故こんなにませてゐるのだらう、
さいふのが、感情的に殊に腕白でない亂暴でないおきなしい所謂善良さを持つて居るように見える子供の中にさういふの
がかなり多いこゝを始終お心付になるだらうと思ふ。之を善良でもなく悪でもない、所謂純なる生地の白いその儘のもの
に返してやるさいふこゝは幼稚園に於ける大事な問題ではないか考へるのであります。そこで私は幼稚園、低學年に於け
る訓練は、出来るだけ淡いこゝを以つて本體さしたのであります。子供の生活の特色は淡いこゝに歸著するこゝ云つても
宜しい。我々の生活は淡くなくして濃くねつさりさしてあくさいものであります。それが上等に濃いものでも私は用心し
なければいかぬと思ふが、我々の生活はさすに濃いのであります。その濃ささ比べて、出来るだけ淡い所を子供に持た
してやりたいと思ふ。そこで私は田舎の子供が實に羨しくなります。野原に出て森を見て居ります。誰も道德を語りませ
ん。善良なれよ、なご改まつたこゝは誰も言ひません。風がたぐ吹いて居ります。水がさらさら流れてゐます。牛が
もうく啼いてゐます。小鳥がいよゝく鳴いてゐます。その中にちつち居りまして、あの淡さを一ぱいに持つて暮して居
ります。さういふ氣分に何さか我々が子供を扱つてやるこゝは出来まいかさいふ問題になつて来る。淡いこゝであるから
私は十分に云ひ盡せない。かうしてかうして云ふなら強く云へるが、淡いのであるからさうも味はつて戴くより外に仕
方がない。方針をたゞそこに置いて戴きたいと思ふのであります。

之を更に言換へてみますと、感情生活が濃くなつて来るさいふのは一體さういふことであるか。感情は感情として濃くなつて来ることは良いことに相違ありません。冷淡水の如き感情よりは、感情として血の濃さが宜しいのであらうと思ひますが、私の云ふ、淡さを失はれて来るさいふのは、その感情を感情の開放しにして置かないで、それを一度搔廻してみたり、眺めてみたりするに濃くなつて来るを考へます。よく申すことでありますが、例へば林檎をひよつと切つた切口には、實に果物の一ぱいの味が、香が、色が、出て居ります。所がその切口は實に淡い。それを暫く放置するに、それが色にもや／＼して來まして、しつこくなつて、甘味がべこ／＼して來たり、香が爛れる如くなつて來まして、艶も妙にこつてりして來たりする。感情さいふものが出たその儘で行過ぎてしまへばそれ切りであります、それを一度搔ね返したり眺めたりするにしつこくなつて來る。これは幼児にはないことでありませうが、若い人にあります。一種のセンチメンタリズムであります。私は餘りそんな目にも遇つたことはありませんが、私を非常に愛してくれる若い人があつたさします。その人の中にたゞ私を愛して居るだけで、愛して居るに感じてゐない人があつたに致します。さうするに實にさつぱりして居ります。その反對に私を愛してくれて居るに同時に、私を愛して居るさいふことを頻りに考へて居る人がある。さういふ人に遇つた時には、實にベシ付きます(笑聲)。私を愛するだけで愛して居ることに氣が付かぬ人は、私のために色色なことをしてくれませんが、それきりで、私がお禮を云はうと思ふ間に行つてしまふ。先日は色々さうも、なんて後で手紙でもやりますと、却つて嫌な人だと言はれる位であります。所が愛して居ることを自分で氣が付いて居る人は、私に好意を持つて色々なことをしてくれながら、頻りに念を押します。私の愛が通ひますか(笑聲)。愛して居ることを汲んでくださるか。水を召上れさいふから、飲んだらそれでよさうなものだが、その水に含む私の愛が判るかと言はれるに、もう一度飲んでみなければならぬ(笑聲)。實にしつこいのであります。そこまで自分の愛が相手に應へるさいふことを求め

るのは、自分で自分の愛を氣にしてゐらつしやるからである。私はあなたを愛して居るこゝばかり考へてゐる胸が一ぱいだつたものですからつい行届きませんでした、なんて云ふ。胸なんか一ぱいにならなくても、さつきさやつてくれる方が良いのである(笑聲)。つまり感情こいふものは出しつばなしが宜しい。朝幼児が皆様の所に來まして、先生お早う、と言ひます。或は皆さんの所に來て飛付きます。その時は淡い純な感情そのまゝで宜しい。それを、あなたの愛はよく分る(笑聲)。はあこ抱きしめる。さういふ風なしつこい取扱をして居ります、子供がそのしつこさに於て感情生活をするようになる。それが實にむづかしいのである。子供がお早うこ飛付いて來た時に、知らぬ顔をして冷やかにつゝばねてはいけませんまい。子供が持つて居る淡さに於て子供の感情を受取るこゝがむづかしい。若し山の奥に行きましてその子供が私の所に飛付いて來て、なつかしさうにするのは實に淡いものである。山の奥の子供は私になつかしいのでせう。なつかしく思ひながら花なんかをいぢつて居る。或は指をしやぶつたりして居る。私をなつかしく思へばこそ私の傍を離れないで、向ふの方へ行つたり、向ふを向いてこつちを向いたり、妙な振りをして居る。さういふ時には私はそこへ行つて、お前の心に動いて居るものは私に映する感情であるこいふこゝを知らしてやつて、その儘育つてやりたいやうな氣がする。都會の子供は家を出る時からしつこい感情の中で、色々いぢくり廻されてやつて來たのであるから、幼稚園では少しさつぱりした方が宜しいと思ふ。但しこれは皆様を百パーセント信頼して申上げます。うつちやり離しにして、朝挨拶をしやうと思つたが、面倒臭いから知らぬ顔をして居やうこいふやうにならないように確信を以つて申上げて居る。

殊にお話には色々子供の感情に訴へたものがありますが、この扱ひが相當しつこいものであると思ふ。ある子供が、一寸外に出て見たらばつたが、そのばつたの脚が折れたからそれをそつこ置いて何處かに行つてしまつた、こいふお話になつたら宜いと思ふ。子供はそれ位のものである。けれどもそれには止まらないで、ある子供がばつたの脚の

折れてゐるのを見て、實に、非常に、真に、同情溢るゝ思ひになつて、あゝ可愛さうだと思ひました(笑聲)。そんなに子供は、あゝと思ふものではない。この所謂お話を上手にする時に私は聞いて居ります。あの方はあすこまで言はなくては濟まぬか知らぬが、幼児に取つては少し過度であると思ふこゝがあります。言ひ過ぎである。そこで先生が時々良い氣持になつて：：良い氣持ではないでせうが：：(笑聲)實に同情しました、なんて言ふ。子供はくす／＼笑つたりして居る。(笑聲)これではもう都會の子供に必要な分量を通り越して居る。云つて子供は決して無情ではないのである。寧ろ私はさうまで誇大しなくてはならない大人の感情が無情であるを解釋します。さうもウキスキーを半分以上やらなければきゆうつこ來ないといふ人は喉が少し變になつて居るのであつて、感情の鋭い人は水で相當感するのであらうと思ふ。

この席で申上げるのは適當かさうか知りませんが、皆さんと一緒に吹聴しても宜いかと思ひますが、亡くなりました巖谷さんの話といふものは實に感情のさら／＼して居るものでありまして、私は昔からあの人の話に氣を付けて居りますが、色々なこゝを云へば云へないこゝもないでせうが、何處までもセンチメンタルでないのである。さら／＼をやつてしまふ。桃太郎が征伐に行かうといふので、お婆さんが黍團子を拵へてくれた。それでは行つておいで、行つて來ます。出かけて行つた、みやつてしまふ。それがある方になります。彼うしろを振り返つて、婆さま行つて來ます。さか色々やります。それを巖谷さんはさつさ。行つて來ます。みやつてしまふ。それで途中で犬に遇つて團子を半分やつて、さ來い。さつさ。やります。あれは巖谷さんの江ツ子氣象から出て居る所もありませうが、この話をして居る。巖谷さんと思ひ出すのであります。所が巖谷さんのお話は田舎に行くに喜ばれません。これは餘計な話であります。私は幼稚園の中の全體の感情を淡くしてやりたいと思ふ。

も一度念を押して申して置きますが、何も幼稚園の感情を冷淡にしるこゝにはありません。用心して感情に觸れて

行くのでありますが、それを淡くして、純真なものにして行きたいのであります。殊に幼稚園で歌ひます唱歌なども、歌の文句もさうでありませうが、節なきも感情の出てるない唱歌が良いと思ひます。殊にその感情の出てる唱歌を更に感情を籠めて歌ふやり方は、私はその意味から非常に賛成しません。殊に頻りに半音を持出して行く子供用の唱歌は實に賛成しません。近來の子供用の唱歌には私は非常な不満を持つて居ります。殊に都會の子供はセンチメンタルな歌を始終聞いて居ります。何ぞか太郎さいふ歌ひ手がありますが、あの人の聲は實に良いが、歌ひ出しから實にセンチメンタルで、捏ねて捏ねて捏ね返した歌を聞きます。私のような弱い心臓を持つて居る者は、心臓を目茶苦茶にされる。藤山一郎の、僕の春から僕の銀座へ云つてくる時に、かなりモダンなセンチメントが出て居ります。あんなものを都會の子供はラヂオや蓄音器で始終聞いて居ります。お母さんもそれを歌ふ。お母さんのは心臓がまつすぐになるような聲ですから良けれども(笑聲)、それにしても節廻しだけは捏ねてる。さういふものを牛の啼聲だの豚の啼聲に比べる。子供としては大變にセンチメントの世界に居る譯であります。リズムがさうのかうのさ仰しやいますけれども、リズムなきでも實に幼児のリズムは兩垂ぼつゝり以上のリズムではない。ぼつん、或は時計がちくたくする位の所にゐるのです。それをリズムを通り越して、春野にまで行くセンチメンタルな音楽は幼児には禁物であると思ふ。所が先生がさなきだに半音の方に小唄式の歌を、幼稚園の庭に散る櫻、櫻散る、あゝ、さかいふのを聲にまかせておやりになる。ソーマツチは此の如きことを云ふのであらう。もう少し淡泊にしたいと思ふ。さつぱりかんこした歌をさつぱりかんこした節で、さつぱりかんこした節をさつぱりかんこした態度で、さつぱりかんこした幼児のために牛の啼く聲でも御研究になつたら良いと思ふ。子供が來ましたらば、「モー」云つて、やるだけの大膽があつたら、非常に敬意を表する(笑聲)。出来るだけ感情をブリミチブな立場から見ても載きたいと思へるのであります。要するに、基本性情を涵養しますためには、その上にくつゝ

いて居りますあくさいものを取去らなければならぬさいふこを申上げたのであります。

之に關係して、然らば何故今日の幼稚園があの小さな子供を相手にして小唄のやうなものを頻りにやるか。これは兒童に對する所謂情操教育さいふ言葉が其をなして居るのであると思ふのであります。情操教育さいふ言葉は、御承知のやうに、數年前我が國に於て行はれた世界的に流行した言葉であります。この情操教育さいふ言葉は何故そんなに強く流行したか云へば、その前の教育が餘りに感情方面に就いて考慮しなかつた。主智主義云ひますか、實用主義云ひますか、さういふ風であつたので、それに對する反動としてセンチメントに關する教育が到る處に強く唱へられたのであります。けれども私はその前から始終主張して居つたのであります。情操教育さいふやうなものは、曩の「善良ナル性情」に同じ論法でありまして、「情操へ向つて發達するであらう基礎教育」さいふこなら宜しい。既に情操に纏りの付いた生活なきは青年期に於て初まつて出來ます。その時分になれば、花が咲いてゐるのを見ても何心、何を見ても何心、であります。所謂情操の方に入つて來る。幼兒に情操さいふものがあつたら大變なこであります。情操さいふ言葉の解釋の仕方でさうにでもなりさうな話でありますけれども、少くも今日の心理學で定義して居ります情操さいふものは幼兒期なきには決してあるものではない。幼兒にありますものは情緒だけがあるこ私は解釋して居る。然もその情操さいふものは情操さいふものになつてしまへば實に乙なものがありまして、それが心理學的には何から出來るか云へば、矢張り情緒から出て來るのである。情緒が適當に養はれるこなくして、情操が適當に養はれるこはないのであります。情緒の正しき發達なくしては、情操の發達さいふこも考へられないのである。これは私は料理なきの例でもさうであると思ふ。大變おいしい結構な料理を戴きますこ、云ふに云はれない、何の味さも云へない、何だか乙な味ですなき云ふだけあります。けれどもこの料理はさうしてお作りになりましたか云へば、別に變つたこはない。作つて一日寢かして置

いたさか、實はこの妙な所は腐りかけの所であつて、腐りかけの乙な點ミかいふ加減もありませうが、根本は最も良き甘味を入れてあり、最も良き辛味を入れてあり、最も良きだしを入れてあるこいふこみである。即ち簡單なる基本的味覺調味料に於て上等なものが使つてあるが故に、あの乙な味が出て來るのである。情操こいふものはその要素であります所の情緒の供給に待つこいふこみは明らかに云へるこみであると思ふ。然るに幼稚園に於て情操教育を大變に尊重して、小さな子供に、情操を養はなくてはいかぬ、藝術的情操がさうのこみ云つて居るが、私は情ないこみであると思ひます。六つや七つ以下の子供に藝術なんて云ふのは大變間違つて居るこみであります。児童藝術ミか大きな言葉をお使ひになりますけれども、児童藝術でも何でもありません。子供が一寸良いこみをしたりしてもこれを道徳ミ云ふから、一寸悪いこみをするミ罪惡になつてしまふのである。児童には道徳もない代りに、罪惡もないのである。藝術がない代りに、殺風景なこみもない。情操教育ミ云つてやつて居ります中に、一番肝心な情緒が何處で養はれるか。子供は幼稚園に來て困つて居るだらうと思ふ。先生は非常に豊かな情操の持主でゐらつしやる。第一顔が情操の顔をしてゐらつしやる(笑聲)。お話も實に情操的にして居りますし、お弾きになります音楽は情操豊かで、何でも情操でなければゐられないやうな刺戟を受けて居ります。子供は友達同志で話をして居ります。俺は砂糖をなめて來たんだが、かう澁い味ぢややり切れないね、けれどもこれは情操で行くのかねミ戸迷つて居る。子供はもう少し單純である。先生を離れて子供達の世界に行きますさほつこしにして、もう情操はいらないんだよ……(笑聲)。やあ、僕の先生の年は幾つだと思ふ、青春二十二、あの頃は情操だよ君、なんて子供が話をする。うちの先生は幾つだと思ふ？人生五十八、あの頃は情操でも入れなければひからびて仕方がない。僕なんか情操なんか入れなくなつて潤ひを澤山持つて居る。なんて云ふ。草花を見て情操なんて云ふこみもなし、ばつたを見て、あゝ暮れ行く秋哀れなり(笑聲)なんて云ふこみを思ふものではない。友達同志でも別にさう混入つた情操で

は附合はない。たゞ情緒である。面白いの珍しいの恐いの嬉しいの腹が立つの、こんな極めて單純な情緒で行きます。この極めて單純なる情緒で行つて居ります子供の世界を教育の方では、さん、お取上げにならない。或は皆様はかう仰しやるか知れませんが。教育といふものは藝術上高尚なものである。九谷の皿のやうなものであつて、情緒のやうな單純なものを盛るものではない。こつてりこした情操を盛上げるものである。生の粟はさんぶりに入れて置けば宜い。私のは練つて捏ねて甘いさんさんを入れるものであるといふやうな教育をよくお思ひになる人があるけれども、幼兒はあの情緒で生きて居ります。幼稚園は低學年とはもう少し情緒の世界に入れたら宜いと思ふ。私は子供の繪雑誌なきにも始終氣を付けて居ります。太郎は次郎さん、喧嘩をしました。太郎さんは大變に腹が立ちました。さもありなん云つたやうなこどもも少し欲しいと思ふ。太郎さんは花を見まして、いとも美觀を稱へて居ります(笑聲)。いふやうなこどもを養ふのはもつとすつと後で宜いと思ふ。即ち幼稚園でもう少し當り前の情緒をさんく發揮さしてお遣りになるこどもは、基本性情の教養として大事なこどもと思ふ。

例へばものが恐いといふこどもさうでありますし、ものが嫌いといふこどもさうでありますし、腹が立つこども、強情を張るこども、又亂暴なこどもばかりでなく、情操に至らないテンダーネス即ち柔かさ、優し味いふやうなこども情緒の中に入ると思ひます。さういふものを大いに取扱ひたいと思ふ。皆さんの幼稚園では多分子供は情緒禁物であると思ひます。子供が來て泣きますと、駄目、幼稚園で泣いては駄目、泣くなんか情緒である(笑聲)。喧嘩なんかしては駄目、喧嘩なんかは情緒である。そんな下等な情緒は往來でやりなさい。或は家でやつたらよからう。この教育の殿堂の中に於ては、もう少し高級な情操に生きて貰ひたいと思つしやいます。けれども私は、幼兒は腹が立つ年である。悲しい年である。おつかない年である。その情緒をさう取扱つてやらうかといふ工夫なしには、子供達の基本性情は育てられないものであ

るを考へます。何も幼稚園で喧嘩を奨励する必要はありません。泣くのを奨励する必要もありません。けれども喧嘩をしましたならば、その喧嘩を大いに尊重してやりたいと思ひます。それは良い按配に情緒が起つて居るを見てやりたいと思ひます。この時に情緒を教育しなければ、情緒の本當の訓練は出来ない。この情緒を研究して置かなければ、本當の情操には育てられないといふ論法に於てやりたいと思ふ。私共が青筋を立て、怒つて居りましたらば、君いゝ年をして怒るな、それは下等なこゝだよ、云つてくれたら折れてしまひます。けれども幼児が怒つたから云つて、何が恥すべきこゝであるか、何が下等なこゝであるか。私は寧ろぎんぐ怒らせたいと思ふ。子供が喧嘩をして居りますと、大抵の先生は仰しやる、(色々な仲裁の仕方がありますが、面倒臭くなります)そんなに怒つたりするものぢやありません、こゝ仰しやる。けれども腹が立つてゐるのをごうします。或はそれを更におつかぶせて先に置いてゐらつしやる。あなたは良い人間になりたいの、云仰つしやる。えゝ良い人間になりたい。それぢや怒るな、云仰つしやる。即ち道徳であの情緒をおつかぶせてしまふのであります。何故もう少し單純に、腹が立つて居りましたらば、腹が立つのは誰だ、怒れ云云つて下さつてこそ幼稚園の先生ではないかと思ふ。子供の怒るのを止めるならば、外に行つてやります。何故泣くのです。悲しいの、意氣地なし、戦争に行つて泣かない人もあるのに何です……(笑聲)なごゝ云つてゐる人もある。皆が私を置き去りにして行つてしまつて何だか悲しい、その悲しんで居る所に行つて、つらいでせうねごゝか、怒つてゐる人の所に行つて無理もないねごゝか、悲しんで居る人の所に行つて辛いでせうねごゝか、下手な遣方であるこゝは申すまでもありません。私の所に來まして、私の氣持をその儘繰返して歸つて行く人もあります。私が何だか憂鬱であります、それは君憂鬱だね、憂鬱だね云つて歸つて行く人があります(笑聲)。後であの人は何しに來たのかと思ひます(笑聲)。そこで子供が怒つて居ります所に行つて、それはもう云はなくても私には分る。私はあなたの心を察する人間である。これでこそ私

は保姆である……(笑聲) 吹聴なさらなくても宜いのであるから、そつこして置けば宜しい。幼稚園の子供が時々私の所に来てつねるようなことをする。私の組の先生は良い先生なんですけれども、私だつて一人でそつこ泣きたいことがあるのに、何時でもうるさくくつついて來やがる……(笑聲) 折角裏の方へ行つて泣いてゐるのに、探し廻つて、泣いてゐるね、泣いてゐるにきまつてゐるのにそんなことを仰つしやる。この間家で泣いてゐたらば、お母さんがひよつこ見てすつこ行つてしまつた。あの時は嬉しかつた。邪魔をしてくれない。自分の情緒を情緒のまゝで置いてくれる。暫くしてから泣いてゐるたのを氣が付かないようにお母さんが呼んでくれて、泣く感情は全く反對の愉快さの方にすつこ心が行つてしまつた。何だかお母さんが良い蓄音器をおかけになつた。それで私は其處へすつこ行つた。さうするとお母さんが、にこつこ笑つた。あの時お母さんが、さつきあなたは泣いてゐましたね、私大目にみて置いたの、今に直るだらうこ先を見越して見て居りました(笑聲)。かう云つてくれたらそれで蓋も實もない話であります、子供はそんなに一生泣いては居りません。五分こは泣いて居りません。涙の量を物理學的に測定しても大抵見當は付きません。私は情緒をそつこ置いてくれるこ云つたやうなこは、随分大事なこではなからうかと思ふ。田舎の子供はそつこ育てられて居ります。都會では怒つてゐるね、泣いてゐるね、それが實にうるさいから、情緒なんていふものはさつさこ形付けて、踏付けて、押潰して居る。情操に對して情緒の差こいつたやうなこはそんな所で云へるかこ考へます。

(七) 都市幼稚園の自然的施設

これは改めて申上げるまでもなく、皆様が御注意になつて居るこかこ思ふのであります。今更幼稚園の庭はごの位狭くなければいかぬ、山がなければいかぬ、池がなくてはいかぬ、外接園がなくてはいかぬこ云つた所で仕方がないのであ

りますが、一つあるものを遺縁を付けてやつて載きたいと思ふのであります。この夏大阪の極く繁華の土地の幼稚園の方がらつしやいまして、大變に嬉しさうに私に御相談になりました。幼稚園が庭を十五坪自由にすることが出来たが、それをさう取扱はうかさいふ御相談である。私の幼稚園の庭は十五坪より少し廣い。その廣いのを御覽になつて、十五坪云ふのは云ひ出しかねたか言つて居られましたけれども、あの土地で十五坪いふのは自分が持つてゐるのは大變なことであります。そこで私はその人に、あなたはさうしようと思つてゐらつしやるか云つた所が、實にかう申しては失禮ですけれども、丁度私が急に千五百圓も儲けたやうな氣持で、不斷始終不自由致して居るのですから何でも彼でも欲しい。自動車も買ひたし、邸宅も買ひたし、別荘も買ひたし、都合に依つたら汽車も買ひたし……(笑聲)いふこまで思ふ。その意味で窮窟の中に居つた人が十五坪得たのであるから、色々お考へになりました、それを私ちつと聞いて居つて、十五坪にそれが入りますか？何さか入れますよ仰しやるのですが、私は實に冷かしでなく、敬意を以つて笑つた。何さか入りませうが、子供は何處へ入ります(笑聲)。さあ、さいふ話であつた。

今日の都市幼稚園の庭園がその狭さを擴げようとしても、中々出来ませんまい。そんな無理なことを考へても仕方がないが、その庭を子供のためにさう使つて居るだらうかさいふこに就いては、未だ考へる餘地があると思ふ。庭園を見に来る人なごは大抵子供が歸つた後にやつて来て、なる程こんなものがありますね、行届いて居りますね、揃つて居りますね、云つて體をよちつて通れる位の間をくゞつて、随分色々なものがありますね云つてくれるようなのが宜いのであらうか。そこをもう少し考へたいと思ふのであります。殊にその庭園で自然を備へますためには、主として植物が役立つものであらうと思ふ。私は未だこの學校の庭を拜見して居りません。又唯今は何處の幼稚園の庭も私の眼の前に出て居りません。出たら云へなくなりますが(笑聲)。その所謂植物を庭の中に置く時に、これはまさか狭くて子供が歩けないように一

ばいに植ゑるようなこゝはないでせうが、主として日當りの良い端の方にお植ゑになりますが、このお植ゑになりましたものを見ますと、一々白い札が立つて居りまして、何でもない菊なら菊がある、「きく」と書いてある。本字では「菊」、ラテン語ではクリサンテマムと書いて、「菊科に屬す」とか、色々なこゝが書いてある。これから秋になりますと、庭で咲いてゐるのを見ても屋内で咲いてゐるのを見ても、名前が書いてある。これは雲龍でございますの、これは雙懸崖でございますの、云はれる、がつかりしてしまふ。菊作りの道樂のジレットタントの興味としては許すさしまして、自然美を加へようとして植ゑます一本一花の草や木にサイエンスを持つて來る、こゝは、私は非常に残念に思ふのであります。小學校を二つにはつきり分けて、生活の特色から尋常一、二年の低學年は高學年は全く別の世界に存在して居るまで私が信じて居りますこゝを許されるならば、矢張り低學年には幼稚園と同じような意味で、之にサイエンスを持つて來たくはない。たゞそれがネイチユアであつて欲しい。私の幼稚園の庭を造る時に色々な専門家に相談をしたのであります、その方はさういふ木をお植ゑになりますかと私に聞きながら、まあ教材園として、讀本に出て來る位の植物は一通り植ゑて、併し澤山植ゑる譯には行かぬから、一つ／＼代表的なものでも植ゑては、その時にちらつて言つたので、私はさうしてこんな違つた考を持つ人があるのだらうかと思つた。私は出来るだけそこを原つぱにしたかつた。森にしたかつた。讀本に出て來る草だから木だからいかぬ、いふこゝはありませぬけれども、何もさういふ風なこゝに執著しなかつた。のみならずそこには植物のサンプルのように色々なものがぞろ／＼並んで居るのでなくて、松は松と一緒になりたいでせう、杉は杉、ひばはひばと一緒にゐたいでせうから、さういふものをぐちや／＼混ぜて植ゑてあります。實際一定の所には一定の植物が生えて居ります。一本だけ生えてゐるのは滅多にないので、氣候や種子の關係で揃つて居りますから、その自然の姿で植ゑたいと思ふ。一本々々植ゑて、白い札を立て、目錄の上で何種ありますといふやうなこゝ

は、都會の幼児に與へたい庭ぎは申しがたいのであります。

かういふ意味で、幼稚園の植物を出来るだけ自然的の感じを子供に與へるものであり、與へるやうな扱ひ方で行きたいと思ふ。これが草や木の珍しくない田舎の幼稚園でありましたら、私は教材園をはつきり造ります。田舎のそこらの草を植ゑて、自然美豊かなりいふことは餘計な話である。けれども都會ではサイエンスが缺けて居る前にネイチュアが缺けて居るのでありますから、出来るだけ自然的の感じを與へたいと思ふ。

皆様が日曜日なきにピクニックにおいてになります。必ず子供のためにお土産として色々なものを取つておいでになるだらうと思ふ。中には折角草だの何だのありますのに、それを取つて來ないで、人造的に造つたものなきを買つておいでになります。都會の子供が何が欲しいだらうと思へてゐるらしやる方は、この一本の草でもき、取つておいでになるだらうと思ふ。その取つておいでになる時に、多くの方が上の方を切つて花を持つてお歸りになる。それも結構でございます。花は植物の代表である。顔が人間の代表であるが如く、久し振りであなたにお目にかゝりまして嬉しうございませう。すこいふのは、顔を見たのであつて、久し振りであなたの脚にお目にかゝりましていふのはないのでありますから、花は植物の代表であるに相違ない。けれども花こいふものより、自然美の豊かな根であると思ひます。そこで私は田舎の草を持つてお歸りになる時に、何故根を持つておいでにならないかと思ふ。切つた花は切花屋に幾らもガラスの中にしまつてあります。都會にないものは植物の生きて居る根である。その土が著いた儘の根を持つて來て子供にやる。或は都會の子供は、土が著いてゐる汚い、花は綺麗だが根は汚いものだと思ふかも知れませんが、それ程自然こいふものから離れて居る子供達でありまして、その花を持つて來るのに對して根を持つて來るなきは、聊か極端な例を申し上げましたが、自然を本位にして植物を扱ひたいと思へるのであります。

唯今私の幼稚園には雑草が生えて居ります。私の幼稚園はおいで下されば自慢を致しますが、實に美しい庭でありまして、芝を入れ、色々な本を植ゑまして實に美的に出来て居ります。本當の幼稚園の庭になるには十年はかゝると思つて居るが、この夏休みの間に雑草が澤山生えまして、心なき學校當事者は之を屢々刈らうと思ひました。私は年々のこゝで、幼稚園の庭は草刈の手を入れません。それで頻りに色々なものが生えて居ります。その生えて居るので、やつこささこ都會の子供を九月初に招待する場所らしい感じが私に致して居ります。あれを踏んで居る中に枯れてしまふだらうと思ひますが、その雑草には花もあるのでせうけれども、粉末のやうな花ばかりで、或は莖が綺麗さいふ譯ではなし、何でもないが、觸つていゝのか悪いのかそんな窮屈な感じはなく、雑草だけは自分ののんきな世界にしてやつて居るのであります。何處の幼稚園もさう云つた雑草を植ゑる方が宜いと思はれませんが、雑草味を加へたいと思ふのであります。皆さんも御苦心で、ごくワイルドな自然美を入れたいと思ひのこゝ考へられます。一昨々日でありましたが、ある地方の方が私の所にゐらつしやいまして、面白いものを持つて來て見せてくれた。色の著いた砂で砂繪さいふものを畫きますが、あのやうに、木の葉の粉で繪を畫くこゝを發明しまして、長い間の研究の後で私の所に持つて來てくれた。私は幼稚園で繪具を使ふよりも草の汁を使ひたいさいふこゝは豫てから思つて居つた。植物の汁を榨りますと、相當な色が出るこゝは御承知の通りであります。或は東京の真中で育つて、東京の真中の幼稚園の保母になつて居る方は御存知ない人があるかも知れませんが、草の汁さいふものは仲々面白いものである。これは草の葉を乾かしまして、摺臼でひいて粉にして作つたものであります。見本が澤山入つて居りましたが、實に千差萬別、良い色があるのであります。梧桐の葉は實に青い。青豆の葉も青い。黄色いのもあります。五色だの七色だのさいふサイエンスで著けたものこゝは全く違つた何こゝも云へない良い色が出てゐる。その人がやりますのは、色を著けようとする所に糊を塗つて、その粉をかけますと、それが著

いて綺麗な繪が出来ます。私はそれに木葉繪具の名前を付けて置きました。私はそれをお奨めする譯ではありませんが、それが發明されたのは田舎であるが、都會ではないかと思へる。更に皆様が皆様の幼稚園へ田舎の野のものを取入れて來ることに就いて色々お骨折を願ひたい。但しこれは電話でご注文になりました、クレオンを持つて來てくれ、色紙を持つて來てくれ、云つたやうに簡単な譯には行きません。

大阪で自然物觀賞のことに非常に骨を折りました方がありますが、暫くそれを熱心にやつて居りました所が、全國から色々なものが來ます。私がそこに行くに、小包の俵が著いて居る。開けて見ますと、松ぼつくりが澤山入つてゐた。「拾ひ集めて御送申上候」「私の庭に藤豆澤山之有、御送申上候」私の庭に何の彼の、色々なものが澤山集つて居ります。都會では不自由であるけれども、一寸連絡を付けて置きますと、幾らでも來ますので、中々面白く集めることが出來ます。人の作つたものか、銀座で買つて來たものか、いふ外に、自然物を皆様の幼稚園に入れることをして戴きたいと思ふのであります。

(八) 園外保育

自然物を幼稚園の中に入れることには切りがありません。乃ち無暗に入れることも出來ません。そこで外に連れて行くより外に仕方がないので、茲に園外保育の問題が出て來るのである。幼稚園は幼稚園の中で保育することだけではありません。皆様は皆様の幼稚園へ來て居る間だけの子供の先生ではないといふことをしつかりお考へを願ひたい。都會生活をして居ります哀れな子供の生活指導者であるとお考へを願ひたい。そこで幼稚園の中で教育します外に、さうしたならば之に自然味を與へることが出来るかといふことに就いて色々ご工夫を願ひたい。皆様がお連れなされるのも結構、家の人

が連れて行きますようになりまします。要するに幼児の先達になりまして、幼児を田舎の方に連れて行くことを主體と考へるのであります。殊に神田、京橋、日本橋邊りの子供の多數は、一年の間に廣い野原を見るようなことも極めて少ないものが多いのではないかと思ふ。これは市役所の方にも十分御諒解を得まして、机の上でする保育は一日位休んでも宜しいから、さん／＼自然の方に子供を連れて行くのが宜いのではないかと思へます。

さういふ意味で都市幼稚園の子供のために圖りたいことがあるのでありますが、茲に少し違つた問題で、この機會に申して置きたいと思ひます。こゝは、若しも幼稚園が都會の子供の生活的缺陷に對して考慮を拂つてゐないならば、兒童の心理だけは尊重し、教育の目的だけ考へて居りまして、あの雑踏せる都會の子供で、歸れば路地裏の日の當らない處に歸る子供だといふことを考慮しないで、たゞ教育を紋切型でやつて居りますならば、これは保育の時間が濟みましたならば、最小限度で歸すのが宜しいと思ふ。幼稚園の中で又都會生活の文化過重の上塗りをされることは、幼児のために氣の毒でありますから、所謂幼児教育の補遺的なことを一寸やりました、後はお疲れでせうと云つて歸してやつた方が宜いかと思ふ。けれども若しもその幼稚園が都會幼稚園の曩に私が申上げた意味を一ぱいに得さして、そこは伸びやかなる世界であり、そこは潤ひのある世界であり、そこはあくさい子供達よりも松ぼっくりが敷かれて居るような處であり、あの蕪窟な縁日の植木屋が賣つてゐるようなものでなくして、根がある雜草が置いてあると云つたやうな幼稚園でありましたらば、保育時數といふものに就いてはうん／＼お伸ばしになつて宜しいかと思へるのであります。これは幼稚園の性質に依ることであつて、唯今申上げた通り、都會幼児にふさはしくない幼稚園であつたならば、早く歸した方が罪がない。けれどもその幼稚園が都會幼児のために考慮して施設してあつたならば、あの保育時數をきちんと守る必要はないと思ひます。

(九) 保育時數の問題

一體幼稚園の保育時數といふものは、何を根據にして出しましたが、別に根據はないのであります。我が國の法令の何處をお探しになりましたも、時數は二十五時間といふことは何處にも書いてありません。小學校令は全然違つて居ります。その保育時數といふものに就いては、何を根據にして考へるかといふに、その子供の家庭生活の缺陷に對して考慮するものであります。若しも良い家庭なら早く歸します。若しも悪い家庭なら……悪いといふことはないが、幼稚園の方が未だ良いといふならば、幼稚園に長く置けば宜いかと思ふ。

そこで私の願ひは非常に混合つて居ります。都市中心の場所に於きましては、恐らく幼稚園の方が未だ々々つゞき結構なことも澤山にあるだらうと思ひます。その都會幼兒の生活を救つてやる、補充してやるといふ意味から考へまして、少し保育時數を伸ばしてやつたらさうかと思へます。その保育時數を伸ばすに就きましては二つの問題が起る。伸ばした以上は又晝前からやつて来たような歌を歌ひ、繪を畫くといふのではありません。幼稚園の世界が實に都の生活を違つた、京に田舎ありき云つた、伸びやかな感じを與へる環境に置いてやれば宜しいのであります。その環境をすつゞ知らしてやるといふだけで、保育時數をもう少し伸ばしてやりたい氣がする。もう一つは實際問題として、保育時數を伸ばすといふは、皆伸ばさなければならぬと思ふか知れませんが、これは皆伸ばしても宜しいのでありませうが、實際はその子供に對して少しでもベターな施設をしてやりたいといふ深切から出るのでありますから、その幼稚園の先生の人數などを考慮に入れて、幾人が宛、少しづつ、残しても宜いと思ふのであります。秋の中頃、歸れば暑苦しい西日が當つて居る。自動車の通りを歸つて行く子供のためには、せめて幾人が宛でも幼稚園に残るといふことは必要なことではないかと思へるの

であります。私は常にかういふことを申して居ります。その子供が家庭に歸つてお母さんが留守ならば、幼稚園は預つて置く方が宜からうと思ひます。お母さんが工場に行つてゐて五時に歸るのが明らであるのに、その子供を二時半にさつさゝ歸す先生は、随分その子を思つてゐない方であると思ひます。あなたは家へ歸つてもお母さんはゐないでせう、哀れなる子よ(笑聲)なんていふことは云はなくても宜しいが、それが分つてゐたならば、幼稚園に置いたら宜いぢやありませんか。又工場に行つて居る譯ではないが、この頃お母さんはお産で、赤十字病院に入つてゐるのではない。この頃家へ歸つても田舎のつんぼのおばあさんがゐるて何を云つてゐるのだから分らないといふやうなことがありましたならば、その間は幼稚園に置いてやる。叔母さんはさうではないかと思ふ。珍しく甥がきました、家ではかういふ譯だから歸つてもつまらないと云へば、今日は泊つておいでと云ふでせう。幼稚園はその深切で保育時数を延長して然るべきものであると申して居るのでありますが、今日の話はさういふ所に觸れるのでなくして、歸つた家の様子が幼稚園よりも一層都會的弊害の多い所であつたならば、せめて日がかげつて涼しくなるまで幼稚園に置いてやるといふやうなことは、都市幼稚園の任務ではなからうかと思へるのであります。私は時にかういふことを思ふ。その幾人か残された子供は、家庭生活から云へば不幸でありますけれども、幼稚園に於きましたは多勢がやゝしてゐた時よりも實にしんみりした良い生活が出来る。學校では居残りといふことは情ないことでありますけれども(笑聲)、これは恵まれた居残りでありまして、先生は子供に言つておやりになる。或は心の中でお思ひになつたら宜い。朝からこんな静かな生活をあなたに與へたいと思ふが、庭園の關係でがやゝして居つて、私もごちやゝして居つていけなかつた、これからしつこりませう。お庭にソファでも出してしつこりませう。びしよゝ濡れなくても宜しいが(笑聲)、さう云つた氣持で少し休ませておやりになることは、都會幼稚園の大きな任務ではないかと思ふ。田舎幼稚園ならば、幼稚園なきに置くより、さつさゝ野原に連れて行つた方が宜い

が、ストリートよりは幼稚園の方が少しでも良いならば、そんな心掛を持ちたいと思ふのであります。

(十) 家庭への注意に就て及都市幼児教育者の教養に就いて

これは改めて申上げる程のこともないと思ひますが、さうか皆様が以上申上げたような精神で、幼稚園の一般任務でなくして、都會幼稚園さいふ特種任務をお考へになりまして、矢張りこの精神を以つて子供の親達にお話を願ひたいと思ひます。殊に失禮であります、最後の一項を申し上げますれば、皆様は單なる幼稚園教育者、低學年教育者であるだけでなくして、都會の子供達の傍に行く人であるとお考へになりました時に、その特種任務に對する特種教養さいふものが大いに必要であらうと思ふのであります。私は幼稚園の先生に對しては共通にお奨めするものを持つて居る。私の知つて居る方々の方に會ひますと何時でも直ぐ云ふものであります、この頃はあなた睡眠が足りて居りますか、さかう申しません。いやさうもこの頃寢が足りませんさか、勉強ばかりして居るので睡眠時間が少いさか云つたら、私は寢ることを頻りに奨める。能く寢てゐない先生は、明日行つて子供さあの生命の中にいても自分を持つて行けません。我々は子供よりも餘計寢ます。子供は八時間で恢復するさうであります、私は十二、三時間寢なかつたら駄目であります。さうして子供よりもよく醒めた眼で以つて、そしてフレッシュな氣持で子供に向はなければならぬ。夜は遅くまで夜なべをして、半分寢ぼけて、少し頭が痛いさいふやうなこゝでは、實に幼児の傍へ行けるものではない。先生何だかお疲れのようですね、子供に言はれる位恥かしいこゝはない。都會幼稚園らしくするために、先生がもう少し自然美を持つてゐて戴きたい。何も頭に草を載せてゐる必要はない。又は百姓のやうな恰好をする必要もないでせうけれども(笑聲)、心の中にネイチュアを入れて戴きたいと思ふ。そのためには休日なきには、銀座にのすかはりに(笑聲)、是非田舎においてゐる。

：別に花の所に行かなくても宜しい。それはそれは良かつたのよ、なんて云ふセンチメンタルになりますから、別に美でも何でも自然が美だなんて云ふのは餘程病的な話であります。皆さんも御覽になつたか知れませんが、私はこの間映畫を見ました。都會に育つた人が田舎の學校に奉職しまして、馬車に乗つて行く途中の話であります。それに乘つた先生は紐育あたりに育つた人で、ネイチユアは奇麗だを見てしまつて、途中にキャベツ畑があるを、それを見て、キャベヂ・イズ・ビウティフルと言つた。田舎の人がそれを聞いた所が、キャベヂがビウティフルだといふことは譯が分らない。キャベヂはキャベヂである。それでおつたまげて、くすくす笑つた。キャベヂが奇麗だを、云つてゐる一幕がありました。私は田舎に行きまして、大根を見て、眞に清らかなる白き大根よ……(笑聲)なんて云へば、それを聞いた百姓はびつくりして、大根は白えささ、なんて云ひます。自然が美といふことは情操で美を見てゐるからで、そんな美はない。何でも宜しいから田舎に行きまして、草が生えてゐる處で、赤土が出てゐる處で、子供にお相手を願つたら宜いかと思ふ。それでも足りませんならば、皆様は色々お讀みになることが多いと思ひますが、皆様には是非お奨めしたいことは、哲學もお讀みになります。人生論をお讀みになることもありません。如何にして金を儲けるかといふこともお讀みになります(笑聲)。戀愛小説殊にお好きであらうと思ふ(笑聲)、皆様は乾燥無味な都會の子供の文化に對して、情緒蘇々なる戀愛小説をお讀みになります、皆様は乾燥無味ではなく、非常に潤ひ多きハートでゐらつしやいませう(笑聲)。けれどもその潤ひは幼児にはふさはしくないものであつて、「あなた」なんて一寸變な情緒をお出しになりましたのでは幼稚園らしくない(笑聲)。そこで幼稚園の先生はあらゆる修養をなさいます外に、是非自然詩をお讀みになることをお奨めします。俳句でも、日本の歌でも宜しうございます。英語でも佛蘭西語でも宜しうございます。所謂都會文藝でなくして、田園文藝。或は人間さいふものを歌ひ抜いた詩でなくして、そんな偉いハートの歌を詠むのも宜いが、同時に草が生えて居る、蝶々が

飛んでるるこいふやうな歌を詠みまして、少しは心の中にネイチユアの戦き、ネイチユアの震へるようなものをお貯へになりまして、子供の所においてになつて、その詩の力で、子供と一緒に雑草をご覧願ひたい。それでつばめをご覧願ひたい。その眼で空を見て載きたい。哲學ばかり讀んでらつしやる方は、子供と一緒に空を見て、高し、あゝ、無限……(笑聲)云つたやうなこばかりを言ふ。飛んでるわね、雲、雲、云つただけで宜しい。風が吹いて來ます。秋の木の葉が散ります、あゝ、無情……(笑聲)こいふやうなこを仰しやらないで、何處まで飛んで行くのでせう、木の葉が、云へば、それがその儘詩になる。非常に深味のあるものでありますから、是非さういふものをお考へ願ひたいと思ふのであります。

色々申上げて居りますこ際限がありませんから、これでお許しを得るこに致しますが、今回のお話は、私は保育の理論を申上げたではありません。況やその方法を申上げたのでありません。皆様と一緒に都會に居ります所から、あの子供達を何さかして都會にゐない子の幸福へ少しでも持つて行つてやりたいこいふ氣持だけをお聴取り願つたのであります。色々ご無禮ばかり申上げましたが、これで終るこに致します。

兒童心理學文獻抄 八

牛 島 義 友

幼兒の社會性並びに情緒の發達

園藝家が苗木に毎日本水を灌ぎ、雨風を防ぎ丹精をこめてその成長を樂しむ樂しみに較べて人の子を育てる心勞を樂しむは更に數層倍多い原因は、草木は培養者の働らきかけに對して無言のまゝに伸びて行く丈であるが、赤ん坊は養育者の處置、態度に對して一々微笑し泣き叫ぶ等の情緒的反應を以て答へる事にある。此の情緒は大人或は他の子供に對して顯はれるものであるから、先づ幼兒の社會的行動から見る事にしやう。

ビューラー 幼兒の社會的行動 Soziologische u. psychologische Studien über das erste Lebensjahr 1927

女史は生後二ヶ月乃至一ヶ年半の幼兒を二人宛一つの

ベットに坐らせて、その社會的反應を研究して居る。此の場合同じ位の年齢の者、又は年齢の異つた者を組合せたり、玩具を一人丈に持たせたり、雙方に持たせたり、或は二人の中間に置いたりして、各場合に於て幼兒の間に起る行動を十分間宛觀察した。百十四人の乳兒に就て研究した譯であるが、その社會的反應は三つの段階に分けて區別する事が出来る。

一、接觸前の時期 一乃至二ヶ月。此の時期では二人の幼兒はそれ／＼相手に少しも注意せず、相手の運動や音聲に對しても全然無關心の状態に居る。

二、受動的接觸の時期 二乃至五・六ヶ月。一方が接觸的に働らきかけるに受動的に反應はするが自らは積極的に

働らきかける事は出来ない時期である。最も普通に見られる行動は感情の傳染であつて一方が泣き出すと他方も泣き、笑顔を向けるにそれに対して笑顔を作る。又此の時期の子供は傍に居た人が遠ざかるに急に泣き出し、再び近くで静かになる。而も此の場合幼児は別に相手を凝視してゐる譯でもない。かゝる風に單に人が傍に居るに云ふ事が氣持を靜める働らきをする。

三、能動的接觸期 五・六ヶ月以後。前は偶然視野の中に入つて來た場合でなければ相手を認めなかつたが、次には自ら相手を探し求め凝視する様になる。他人やその行動に對し特別な興味を持つ様になり、相手の眞似をしたり、相手の方に身を寄せたり、物を奪つたり與へたり、攻撃したり防禦したりする様になる。此の場合一方が年長であつたり、體力が優つて居たりするに下位の者に對して叩いたり、その玩具を奪ふ等專横な行動を取る。そして巧く奪ひ取つたり他の手向ひに對し巧く體を防禦し得た時には勝ち誇つた笑みを洩らす。之に對して下位の者は恐怖や逃避の振舞をする。此の優位と劣位を定めるものは主に生理的な

勢力であつて歩く事の出来る幼児は立つ事の出来る丈の幼児に對し優位になり、後者は坐れる丈の者に對しては矢張優勢となる。併し二人の年齢が餘り相違して居るに優位の者は相手に對し却つて無關心の態度を取る事が屢々見受けられる。又男児と女児を一緒に置くに同じ年齢の時にはいつも女児の方が優位を占めて居り、年下の女児が年上の男児に對し優位を示す事さへあるが、その反對の場合は見られない。故に此の頃では女児の方が男児よりも成長が著しい事が分る。

兩者の力が平均して居る場合には争ひを起す事が多い。斯る社會的行動その他の事實からビューラー・ヘッツェルの幼児検査に於ては社會性を検査する爲に次の様な問題が立てられて居る。

二ヶ月児

○子供がむづかつて居る時にその上に身を屈め、半分間位話しかける。之で子供が泣き止めば合格。

三ヶ月児

○子供の上に身を屈めた場合子供がそれに對して笑つ

たり、喃語すれば合格。

四ヶ月児

○検査者が子供に話しかけたり、遊んだりしておいて急に置き去りにして身を隠した場合、泣き出したり、むづかれば合格。

五ヶ月児

○検査者が子供と一緒に遊んでおき、後子供をはなれて室内を歩き廻るその時子供が検査者を目で追へば合格。

六ヶ月児

○三十秒間笑顔で話しかけておき、次に急に怒った調子で話す。子供が此の表情の變化に對し反應すれば合格。

七ヶ月児

○子供が進んで人との接觸を求めれば合格。

八ヶ月児

○大人の手から玩具を取る。

○「居ないく〜バァ」の遊びが出来れば合格。

九、十ヶ月

○人の身振りに對し有意味の反應を示す。

○大人の注意を引かうとする。

十一、十二ヶ月

○大人が不意に笛を吹いたりするさいぶかしげにその方を見つめるさ合格。

一年三ヶ月児

○鞠で組織立つた遊びをする。

○「お立ちなさい」等の命令を理解してそれに従へば合格。

一年六ヶ月児

○何かを知らせやうとして大人の方を向く。

○「いけません」といふ禁止を了解する。

次に幼児の示す情緒的反應を見るに生後幾許もない乳兒の情緒は殆んき正確に知る事が出来ない。斯る幼兒の情緒に對する觀察力を調べたシャーマンの研究には次の様な事實が上つて居る。

シャーマン 幼兒に於ける情緒的反應の分化 (M. She-

rman: The differentiation of emotional responses in

生後八日以内の子供に次の様な四つの刺戟を與へ、それ
に對する反應を活動寫眞に撮つて、觀察者(心理學研究者、
醫學生、大學新入生、保姆)に示してその反應に名前を付
けさせた。

- 一、空腹にさせる——空腹。
- 二、急に體を抱き下す——恐怖。
- 三、頭や頬をおさへる——怒。
- 四、針で突く——痛み。

刺戟を與へる所は見せず、幼兒の情緒反應の場面のみを
見せる。四種類の情緒に對し、心理學研究者は十二乃至二
十六の異つた情緒に解釋して居る。尤も刺戟を與へる所も
同時に見せる。正しい判斷をなす。活動寫眞でなく實際の
所を見せても色々の判斷を下してゐる。故に斯る新生兒の
情緒の分化は殆んど正しく判定する事が出来ない。云つて
よい。せいゝ唯刺戟を排斥する反應。之を受入れる反應
に區別出来る程度である。併しその後幾許もなくして情緒
反應が種々に分化して來る。

ベイリー 幼兒の泣き方の研究 (N. Bayley: A Study
of the crying of infants during mental and physical
tests. J. Genet. Psy. XL, 1932)

氏は六十一名の幼兒に就て生後第三日目以後一ヶ月に一
回宛一年間精神並びに身體検査を行つたが、その約一時間
の検査の間に現はれた子供の泣き方に就て研究して居る。

まづ泣き方の強さ。繼續時間を見る。次の様になつて居
り、軽い泣き方は間歇的であるが、激しい泣き方は持續的

	持續的	普通	間歇的
すゝり泣き	四	三三	一八九
普通	通	八五	二〇三
激しい泣き方	二〇四	二一	一一

に現はれて居る。年齢的に見る。四ヶ月迄は泣く事が段々
減つて來るが、それ以後又増して來て居る。如何なる場合
に泣くか。云ふ原因を尋ねて見る。種々あるが検査の特殊
な場面、取扱ひ方、疲勞が主であるが、斯る原因は年齢に
よつてそれゝ働らき方を異にして居る。今表示する。次の
様になり、疲勞、内的狀態、疝氣等は後には減じて居る

が人見知りが原因になる事は却つてふえて来る。

(原因) 一ヶ月児 六ヶ月児 十二ヶ月児

検査場面	二七・三%	三三・七%	三三%
取扱方	二五・五	一四・九	一九・四
疲労	二〇	一三・九	八・七
内的状態	五・五	二	一
疝氣	一一・七	二	〇
眠い	一・八	四	二・九
饑ゑ	三・六	三	三・九
人見知り	〇	九・九	二一・四
氣を損ふ	三・六	七・九	六・八
下に置かれる	〇	四	〇
妨害	〇	〇	一
不快な位置	〇	五	〇

次に笑ひの情緒に就て同様の研究を述べよう。

ディング、ジャーシルド 幼児の笑と微笑の研究 (G.

F. Ding & Jersild: A study of the laughing and

smiling of preschool children. J. Genet. Psy. XL, 1932)

五十九人の二歳乃至五歳迄の支那人の子供に對し四時間

宛觀察した結果から子供が如何なる場合に笑ふかを見るに身體の運動的活動に伴つて笑ふ場合が一番多く、此の頃の子供では、話や繪等からは餘り笑はない。今各場面に現はれた笑と微笑の合計數を示すミ次の様になつて居る。

(場面) 笑 微笑

子供自身の運動活動	三九八	一七八六
他人の運動活動	一三九	一〇三四
會話	九七	一三二七
音樂と運動	七六	三四五
言葉によらない社會的接觸	二六	六七四
音樂と唱歌	五	一四一
滑稽	二一	三一
音聲	一五	五二
繪畫	九	六九
一人で無活動の時	一	五二

尙年齢的に見るに、三歳の者が一番笑ふ事が少ない、此の時期は人生の第一の反抗期であるがそれがかういふ點に

も現はれて居る譯である。男の子と女の子と較べるに女は男より笑ひが多いが、微笑は少くなつて居て幼少時代に於ける女性の積極性を反映して居る。尙序で乍ら、この研究は支那人の子供の研究であるが、歐米人種に就ての研究結果と比較して見るに殆んど變らず幼児時代に於ては彼等もよく笑ひ、所謂無表情の評は當らない。

その他幼児の情緒としては色々問題しなければならぬものがあり、ワトソンは恐れ、怒、愛を三つの原始情緒として擧げて居るが今一々説明する餘裕を持たないので割

今年の本會主催夏期講習會

夏期講習會で皆さまにお目にかゝれる時が近づきました。今年には廣告欄にありません通り本會主催です。一昨年やうには非大擧して御來會下さい。今年會の特別の點は、幼稚園令公布十週年記念として、當時そのために御盡力下さつた方々の御講演を願ふことです。關屋氏は當時の普通學務局長、森岡氏は當時の主席督學官で、いづれも文部省内で御配慮下さいました方々です。それから山楳氏が幼稚園に理解をもたる代議士として外部の活動に熱心にお骨折り下さつたことも

愛する。只最近の兒童心理學に於ては斯る情緒に就き漠然と觀察せず情緒的行動に就て精密な觀察、例へば活動寫眞を利用したり、あらゆる行動を速記的に記述したりして研究して居る。又斯る觀察を容易ならしむる爲に、特別な觀察室が設けられて居り、こゝに於ては幼児の方からは觀察者が見えず、觀察者の方からのみ兒童を完全に觀察出来る様になつて居る。斯る客観的な觀察からこそ兒童の生活の正しい認識と指導が期待される。

今に忘れられないことです。そうした御縁故で三氏とも此の記念講演を御快諾下さつたのです。全國の方が集まれるいゝ機會ですから、お話を伺ひながら御いつしよに當時を記念いたしませう。

今年の講習會から、汽車、汽船賃の割引特典によつて、皆さんの御便宜を計ることにいたしました。精々お誘ひあはせ御利用下さい。割引券がお間にあはぬといけませんから、成るべく早く聽講料を添へてお申込み下さい。その節、會員證や割引券のお送り先きを振替口座又は爲替に詳細に明瞭にお記し置き下さい。

(講習會掛)

素人に出来る木工の話(一)

山 形 寛

まへがき

一寸鋸が使へる。釘が打てる言ふことは、どんな素人の人にも、家庭人にまつても重寶なことです。特に幼稚園にお勤めの方にまつては、いさゝか木工に就て心得のあるのこ無いのこでは、いろ／＼な點に就て大變便不便を御感じになるのこゝ思ひます。

木工をやゝ専門的に修めやうとするのこ、それはなか／＼面倒なこであり容易なこではありません、どんな素人の方でもやらう言ふ意志さへあれば或る程度ののこは誰にでも出来ます。唯多くの方は、殊に御婦人の方はやつて見やう言ふ意志を御持ちにならないから出来ないのです。此際勇氣をふるつて御試みになるのこを御奨めします。

こちらの保育實習科でも、倉橋主事の御意見もあり、昨年木工をやらせて見ました。なか／＼皆よくやりました。

當の成績を擧げました。それで茲にどんな素人の方にも、大した練習言ふ程ののこをしなくても、直ちに出来る程ののこに就て少しくお話をしてみたいと存じます。

鋸で板を切るこ

1、どんな鋸がよいか

鋸にはいろいろな形のものがありますが、素人の方が一挺で間に合はせるには、第一圖に示したやうな兩刃鋸りょうはのこぎりが便利です。大きさは八寸位のものがよいでせう。八寸と申しますのは鐵で出来た身の部分、圖のイロ間が八寸あるのを言ふのです。

鋸は良いのこ悪いのこでは大變値段がちがひます。安いものは最初の中一寸は切れますがすぐ切れなくなります。

學校で生徒に使はせたのは一圓位のものでした。二圓も出して下さるのこ素人用としては相當よいのがあります。鋸は

切れなくなる目立と言ふ事をしなければならぬのです

が、之は素人には出来ませんが、一圓以下言ふやうな餘り安いものではなくて切れなくなつて拙いのです。

2. 縦挽、横挽

鋸は齒の構造や何かに相當面倒な理窟もありますが、まあ素人にはあまり用の無いことですから略して置きますが、兩刃鋸の目の粗い方は縦挽たてびき申しまして木のもくめに添つて縦に切る時に用ひ、目の細かい方は横挽よこびき申しまして木の纖維を横斷する時に用ふのですから、これだけはまちがはないで下さい。

3. 鋸で木を挽くには

先づ挽かうと思ふ所へ、ものさしか定規を當て、鉛筆で

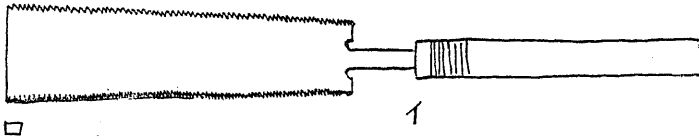
はつきりミ線を畫いて置き、其線の所へ、小さな木片か左手拇指の爪を線だけが見えるやうに當て、其木片か爪に鋸の身を當て、齒のもこの方で靜かに挽きかけます。そして少し挽き口が出来ましたら木片又は爪を離して、左手で木を押へて右手で挽くか、脚で木を押へるなり、他の人に押へてもらふなりして兩手で挽くかするのです。

挽く時の姿勢は左脚を前に右脚を後に、片手で挽く時は右手で鋸の柄の端を持ち、兩手で挽く時は左手で身に近い部分を右手で柄の端を持つて挽くのです。挽き方はゆつくりミ鋸の齒の端から端まで全部を使つてまつすぐに前後に動かします、左右にふれては拙いのです。上手な人の挽いたのミ、下手な人の挽いたのミでは、挽き口を見ればすぐ解ります、下手な人の挽いたのは挽いて出来た溝の幅が廣く、ぶる／＼ふるえて居ますが上手な人の挽いたのはまつすぐな幅の狭い溝になります。

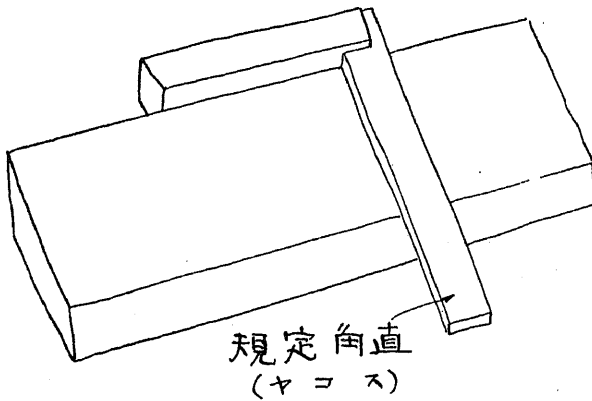
4. まつすぐに挽くには

初めの中はまたなか／＼まつすぐに切れないものです、之は目印の線をはつきりつけて置き、鋸の刃先の線ミ板

第一



の面さを三十度位にして挽けば、大抵まつすぐに切れます。又切った切口が、板の面に直角になり難いものですが、其は



第二回に示すやうに、直角定規(スコヤ)も云つてゐる。で板の表裏両面と側面(普通に)小端を言つてゐます(ミに直角

な線を引いて置き、其線の通りに切ればよく行きます。

鋸の使ひ方に就てはまだ申上げたいことが澤山ありますが、かう言ふことは聞いたり讀んだりしただけではだめですから、先づやつてごらん下さい。習ふよりなれよですから。そして自分で先づやつて見てから聞いたり讀んだりするはつきりいたします。

釘の打ち方

1. 釘はだれにも打てるが上手に打つのはむづかしい。釘言つてもいろいろありますが、普通の洋鐵釘に就てその打ち方をお話いたします。

或小学校で、釘位はだれでも打てる。そんなら皆で一つ打つて御覽なさいと言ふことになり、十人位の先生方がめい／＼釘と金槌を持って一本づゝ釘を打つて見ました。そして手工を専門にやつてゐる或先生が點をつけました所、一人の女の先生が一等になりました。皆大不平であんなに斜に打ち込んだのにさうしてあれが一等ですかこつめよりました。その時手工の先生は斜に打つたから一等なのです、他の方はみな垂直に打つたからだめなのです釘言

ふものは斜に打たなければよくきかないのです。説明しまだ。そして一等になつた女の先生が、さうですか私は又一所懸命に垂直に打たうと思つたのにさうして斜になつてしまつたのです。言つて大笑したことがあります。釘も上手に打つのはなかく困難なことです。やればだれにでもやれることです。

2. 釘の長さはぎの位が適當か

これは物によつて多少違ふが、大體から言へば板の厚さの二倍半から三倍位のものが適當です。即ち三分の板を打ちつけやうにするには、八分乃至一寸位のものが適當なのです。あまり短いさいくら數多く打つてもきませんし、反對にあまり長いさ、太さも従つて太くなるから、材料が割れたり、釘の先端が横に出たりします。

よく素人の方は長い釘は打ちにくいと言ふので、短い釘を澤山打ちたがるものですが、これは最も拙いやり方で、澤山打ちましたも、あみの釘を打つ時に、前に打つた釘が反動で皆ゆるんでしまつて一向かないものです。ですから適當の長さの釘を五寸位の所ならば先づ三本か四本位打て

ばよいのです。それ以上打つても、餘程打ち方が上手ならばさかく、普通ならばあまり有效では無いのです。

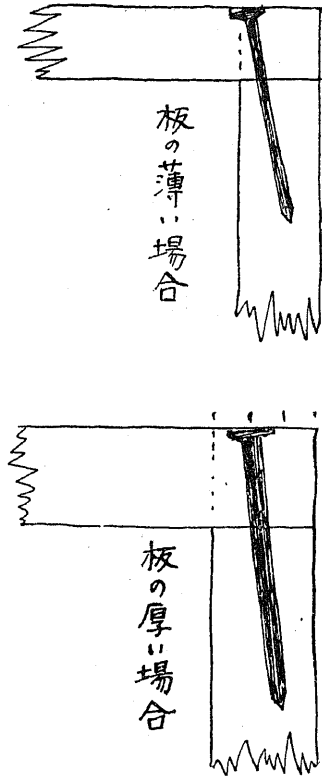
3. 釘を打ち位置方向はさうするか

釘を打つ位置は、一がいには言へませんけれど、板の兩端に近い所に一本づゝ打ち、あみは板の厚さや、長さによつて、一寸五分位から二寸、三寸位の間隔に、釘と釘との間が大體等しくなるやうに打てばよいのです。

釘の方向は、板の厚さが二分乃至四分位ならば、第三圖の上を示したやうに、大體板の厚さだけ内側から、外側に向つて、釘の先端が外に出ない位の傾斜を持たせて打つのです。丁度板の厚さの真中から打ちます。上の板の端が缺けたり、釘の先が板面に出たりするばかりでなく、釘のきゝもよくありません。板が五分以上もあるものならば、第三圖の下に示したやうに、板の厚さの三分の二位はいつた所から、外側に向つて打てばよろしい。板が一寸もあると言ふやうな時には中央へ打つてもよろしいのですが、その時は少し左右に斜に打つてよくきゝます。

4. 錐で孔をあけてから打つてよい。

第三 四



釘もいけません。

5. 打ち込みの要領

初めての方は、僅か八分か一寸位の釘を打つのに、こつこつと數十回も叩かれるのをよく見ますが、相當の重さの金槌でなるべく数少く叩いて打ち込むのがよいです。弱く何度も叩いて打ちます

少し上達すれば孔なきあけなくても、普通の場合ならば

其儘打つてよいのですが、初の中は、木の繊維にさまたげられて、思ふ様な方向に打てないものですから、釘の方向を定めるに足るだけの錐孔をあけて置いてから打つが宜しい。

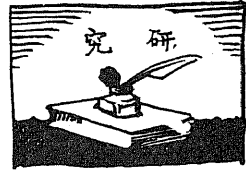
錐には三つ目ミ申して先端が三角錐状をして、中からの方が丸棒になつてゐるものミ、細長い四角錐状をした四つ目錐ミがありますが、大きな長さの二寸も三寸もある釘を打つ時には前者を、小さい釘を打つ時には後者を用ひるがよろしい。錐孔は釘の方向を定めるに足るだけでよろしいのですから、あまり大きく深くあけては釘がきかなくなつてその釘のきゝもよくありませんし、前に打つた周囲の

ミ皆ゆるんでしまふのです。

ですから、釘の方向の定まる迄は二三回弱く打ち、釘の方向がこれでよいとなつたならば、なるべく強く、ぐんぐん打ち込み、最後には丁度頭がしづむ程度に一つこつん打つて止めるのです。

金槌の運動方向が釘の方向と一致しないミ釘が曲がりやすから注意を要します。かう書いて来るミ大變面倒の事やうに思はれるかも知れませんが、實際は誰れでも多少の経験は持つて居られますし、大 だこころではありません。

こんな事を書いて居つては面白くありませんから、次回には何か具體的のものを作るこころをお話いたしませう。



一年間の保育(二)

大阪市御津幼稚園 宮本光代

七月

本格的な暑さが訪れて参りましたので早々にプール開きを致しました。何時も走りまはつてゐる地面の下によもや斯んなプールを藏つて居やうこは思ひも寄らなかつた子供達は砂や板が取り去られて中から大きな池が現はれて來るのを驚きの眼で一日中眺めて居りましたが翌日から水を通じ噴水も立てられましたら俄然人氣の中心が此處に集りまして朝から大賑ひでございました。其の後は水鐵砲やバケツや人形、金魚等の玩具も取揃へまして、暑い日はパンツ一枚になつて此處で水遊びを致しますが其れが又此の上も無い喜び方で、年長も年少も毎日ノノ自分達の順番の來るのを待ちかねるのでございました。偶には氣の小さい子こ

申しますか皆の嬉しさうな顔もよそに、嫌だくく退いて見て居る計りの子もありましたが、之れなき餘りの賑々しさに反つて氣遅れがしたのでございませう。

涼しい日は入水を中止致しますが矢張り水際に集つて、龜を此の中へ移して、泳がして見るのも面白うございました。

此の頃の様に暑さがきびしく、年長組も午前中の保育になりましてからは、會集も省き登園致しました子供からエプロンも上着も靴下も脱がして殆ど裸に近い服装で水縁が砂場が藤棚の陰なきで遊ぶ事にして居りました。

そしてお歸りの時は合圖があつて入室致しますと、服を着けて洗面に参ります。顔の汚れや汗をすつかり洗ひ落し

て銘々の手拭ひで良く拭き取つた後は保母がボアールの粉を刷いてやつて清々しい心持で歸すのでございますがこの事を致しますのにお歸りの時は何時も大變なのでございまして。水から上つて来た子供のパンツをし替へたり、砂だらけの足を洗つたり、着物を着せたり、手拭を一つ／＼も

んだり干したり、未だ幼ない子供達では手を借りねば出来ない事計りですのでこの短時間の間保母の最も忙しい一時でございました、それでも暑さは凌ぐ術も無く子供も保母も額や喉のあたり汗疹の数がだん／＼増えて参りますので、此の分ならば眞夏のきびしさが思ひやられるのでございまして。

中旬頃雨の日が續きましてから急に不順になつて涼しい日も出来ましたので蘇生つた氣持でさう云ふ時は成るだけ七夕祭りの製作を急いで致しました。

七夕祭りは毎年の習慣で八月の七日に行ふ事になつて居りました。笹へ付けます着物、五色紙、環つなぎ、瓜、星、短冊、網、西瓜なぎを七月のかゝりからぼつ／＼作り

始めて出来上り次第部屋の片隅に吊り下げて、當日を樂し

んで待つて居りました。もう「今日はたのしい七夕まつり……」の歌も良く覺えて遊び半ばでもふつ／＼誰かの口に出ましたものがやがて大きな合唱となりて響いて來る事もございます。

其の他に此の月は幼稚園の創立記念日がありました事、十四、十五日は八幡様の夏祭りで賑いました事、尙又月末には大仕掛けの防空演習が行はれました事なご暑い乍らも行事の多い月でございました。防空演習は大阪では初めての試みにて、全市民を舉げて非常な緊張、熱心さの中に期待されて居りました、數日前から各部内の豫行練習が行はれますし飛行機が毎日の様に爆音を響かして飛びまはりますし家でも話を聞いて來たりして、子供仲間でもこれも防空熱が嵩じて來まして、お繪描きも製作も斷然、飛行機が中心になつて居りました。演習當日は幼稚園の遊戯室や保育室も救護室や避難所に使はれる事になり、平常は樂しい子供達の樂園も忽ち防護團員に、かためられることなふ有様でございました。

それで一日幼稚園でも防空演習ごっこをして遊ばうと云

ふ話が出て、押詰つた三十日の朝、子供の作つた飛行機三十臺程を庭園各所に吊しまして年長組の中で防護團員、兵隊、交通巡查、國防婦人會員等と、それと役割を定めて、小さい組は避難民と云ふ事になり防空演習の眞似事をして遊びました。で私達はお部屋の外へ砂やバケツを置いて防護團員に導かれてお部屋からお部屋へ避難して参ります。救護班が来て繃帯を巻いてくれたり炊出しのおむすびや御馳走を澤山運んで来てくれますを頂いたりして居りました。窓から眺めますのに外は殆ど年長兒の活躍舞臺で、畫用紙で作つた防毒マスクを我も我も被りたりがりまして、バンバンバンバン積木の高射砲や鐵砲なぎが頻りに打撃けられますしプールの水や砂なぎも頻繁に運ばれて行きますし、空襲を報じる拍子木の音も聞えて、暫くは戦ひ耐でございました。

そして最後は全部が遊戲室へ集つて戦争ごつこの歌を歌ひ、萬歳々々の聲高らかに私達の防空演習も面白く終へる事が出来ました。

翌、三十一日はいよいよ同學期のお了ひでございますか

ら、道具箱や座蒲團の整理をして、皆で夏休みのお歌を歌ひ、暫くの別れを告げて歸つてまゐりました。

七月中の保育事項

(一) 手技

粘土(飛行機) 七夕祭り製作 紋形切りぬき ヨットの摺み紙 紋形きりぬき 五色つなぎ 輪つなぎ 西瓜短冊 星 着物(色紙) 自由畫(飛行機) 瓜 塗繪(西瓜) 飛行機製作(畫用紙)

(二) 談話

椅子ミテール 西瓜ミ子猿 西瓜ミねずみ 日本一の飛行機 コロリン爺さん 兎吉のお母さんの病氣 雷さんの子 みいちやん兎

(三) 唱歌遊戲 (◎標は歌のみ)

◎記念日の歌 水鐵砲 旗さし競争 ◎七夕祭り 水遊び ◎夏休み

(四) 行事

二日、全園兒保育時間短縮(十一時三十分) 七日、創立記念日 十二日、保育時間短縮(十時三十分) 十

四日、御津宮夏祭來拜 十五日、祭日 二十五日、

月例體格検査 二十六日、防空演習につき會集のみに
て放課 二十七日、二十八日、同十時放課 三十一
日、一學期終了式

八月

八月一杯は休園でございますが希望に應じまして全園で
二十餘名の者が助松學園の夏の幼稚園へ十日乃至二十日程
通つて居りました。南海沿線の海邊に設けられた幼稚園で
ございまして盛夏を過しますのに好適地なのでございます
から私達も出来るだけ虚弱な子供にお奨め致しましたが驛
までの送り迎へに、私達が同伴しない云ふ事で思案なさ
るお宅もございました。

又月の中に二度子供の召集がございました。七日の日は
かねて約束の七夕祭りを行ひ、暫く間をおいて二十一日の
日は間もなく始まりませす秋學期への心の準備でもありま
した。

九月

一ヶ月の暑中休暇も濟んで九月の一日から第二學期が始
ります。前學期の退園兒の替りに新らしく二人の女兒を
迎へる事になりました。暫く振りで登園して來ます子供を
部屋の中で待ち受けて合はす其の顔は何時もの様に元氣に
満ちて居りましたが長い休みの後の事にて、幾らか遠慮し
みた様子も見受けられますので、新入の子供を加へての最
初の中は極く自由な氣持で、庭に出て蝶々や蜻蛉を追ひか
けたり、朝顔の鉢の世話なごをしながらぼつぼつに幼稚園
生活へ移つて行ける様に仕向けて行きました。朝顔は垣根
の方も鉢植の蔓が休み中を我が物顔に伸びて、其れが毎
朝、先の先まで可愛い、花を一ぱいにつけて、登園して來
ます者を、優しく迎へて呉れますのは、何んなにか皆から
喜ばれて居りました。

未だく秋は名計りで相變らず残暑がきびしうござい
ますのでプールは入れこそ致しません。噴水が盛んに活躍
して居りますし、歸宅前の洗顔も七月の時と同じ様に行は
れて居て、お歸りも當分は短縮で十一時前でございます。

た。

授第二學期を、新らしく迎へて、心積り致しました事は、前學期は、子供達が家庭中心生活から、集團生活へ入ります最初の段階でございますから、未だ、保育時間も短く一日ノミ自然の流れに従ひまして、極單純な生活をしておりました。が日を重ねるにつれて、次第に先生や友達との關係にも興味が湧き幼稚園を一層楽しい所と思ふ様になりました。上は今學期はもつこ此方から働きかけて集團的意識を強めて行く様に心掛けねばならぬ。又之れからはい、時候に向いて十月から午後の保育もある様になれば製作の方も計畫して力を注いでみなければならぬ。其れには先づまゝ事遊びを満して行きたいと、こゝろ云ふ風な事を考へて居りました。

だん／＼遊び良くなつてまゐります。まゝ事遊びを非常に喜んで殆ど毎日の様に道具が使はれて居りました。まゝ事遊びには御馳走を造らへる事が最も大切な仕事になつて居りますから、その材料には、活花の残りや大根菜なごが容易く得られます時は、大喜びで致しますがさうでない時

は止められる事が分つてゐても小石や砂を部屋の中へ持運んだりクレイオンを削つたりして、さうにか足りなさを充して行かうと致します。その心持はよく察せられますのでそれを止めさせ様として苦しむ前に之に替る物と思つて、さし當り粘土で野菜や果物類を作つて着色して果物籠に入れて與へました。それから又暫く經つて模造紙で巻すしを澤山製作して箱へ入れて置いてやりました。而してこんな既成品計りではまゝ事遊びの活動が限られて物足りない氣持が致しますので西瓜や夏みかんの種を集めまして持つて參りましたら非常に喜んで御飯やお豆にして木の葉の中にまぜて良い御馳走が作られて居りました。だん／＼暑さも去つて、秋の涼風も吹き出てまゐりました。からは、せゝこましい室内よりも成るべく外へ／＼誘ひ出してお山の山や砂場の近所へ遊を敷ひて、道具箱や人形なご運び出して遊ぶ事に致しました。此の頃特に子供の健康の事が氣になつて居りましたから自分も努めて外出を心掛けて居りました。幼稚園の中で私の組が一番缺席率の多いのは小さいからでもございませうが矢張り保姆の行届かぬ結果が子供を

九月中の保育事項

(一) 手技

- 一、自由畫 一、海景色(貼り繪) 一、塗繪(ヨット)
- 一、家(摺み紙) 一、朝顔(貼り繪) 一、自由畫 一、粘土(果物店) 一、壁掛(貼り繪) 一、月(摺み紙) 一、月見團子(貼り繪)

(二) 談話

- 一、秀雄さんの玩具(改作) 一、兎吉さんのお母さんの病氣 一、お月さまの籠 一、鼠から鼠へ 一、象の魚釣 一、三郎さん(蜻蛉) 一、嘘つき兎 一、ころりん爺さん 一、風(太陽の力比べ) 一、みーちゃん兎

(三) 唱歌遊戯

- 出た出た月 お月さまえらいなー スキップ 夕焼小焼 兎

(四) 行事

- 一日、始業式(短縮中十時半放課) 三日、八月分の體格検査 二十日、保育時間延長(十一時三十分) 二十一日、大暴風雨につき臨時休業但し全園人命異狀なし

弱くしてゐるのかも知れないこの懸念を抱く様になつて、日々の保育にも保健上の事に氣をつけ初めて居りました。その中に二十二日のお月見が程近くに迫つてまゐりました。今年は一見繰上げた二十一日にお月見會をして皆で遊戯會をする積りで、お部屋ではそのお稽古で可なり時間をかけて居りました。

然し忘れもしませぬ其の日の朝、あの思ひ掛けない風水害に襲はれて一同啞然と致しましたのを、幸い子供の怪我はございませんでしたが幼ない心はみんなに恐ろしさに打慄えた事でございます。幼稚園では二階建の遊戯室がひどく傾斜致しましたし、庭園もむごたらしい荒れ方でございましたので二、三日の休日を得まして、全力を擧げて修繕を急ぎました。それで別に子供の保育に差支へる事もなく、間もなく元々通り續けて行く事が出来ましたが暫くは、恐ろしい風の思ひ出話で心の落付かぬ幾日かを過しました。そして此の月も終へようとする三十一日の夕頃二階建園舎の取毀ちの話が持上りました。

二十二日、破損箇所修繕につき右同 二十三日、二階
建中央部園舎を残り、各保育室使用保育開始 二十九
日、二階建中央部園舎取毀ち決定

十月

平常ならば今日から嬉しいお辨當がある筈ですのに園舎
取毀ちの爲當分休園を続けねばならなくなりました、此の
建物は可なり古い日本建で建坪六十坪の中階下の遊戯室に
は、應接室と醫務室が附いて居りまして、二階は全部疊
敷乍ら、此處で一組が保育を受けて居りました。さて取毀
つゝなるに、上下の室の荷物は全部取り出して隣室の赤組
の部屋と其の附近へ運ばれて参りました。今まで餘り手も
觸れて見た事もなかつた押入れや戸棚の奥から、随分珍ら
しい昔の保育玩具や兒童劇の時に用つた云ふ古びた衣裳
などが次々出て來るのでございました。中にはまゝ事遊び
に丁度いゝと思はれる箆笥や椅子お皿などの玩具が埒高く
積上げた廢棄品の間から出てまゐりましたのを早速拾ひ取
つて、お部屋へ持ち込んだのでございました。

其後の仕事は、役所の都合や、雨天などで仲々撓らず、
毎々規定の時刻に出勤しながらも子供氣のない保育室に籠
つて空しく手をつかねた儘毀ち去られる日を待つて居りま
した。然し何時までも斯うした假死状態を續けて行く事に
堪られなくなつて兎に角不自由乍ら二室を以つて保育を始
めましたのが十一日の日でございました。それで最初の間
は、七組を午前と午後と、休みの三部に分けて之れを交
代にして來ましたが十六日から四室が用はれる事となつて
之れで午前と午後との完全な二部保育が出来る事になつた
のでございます。十日間の休園の後に再び子供達を迎へ入
れる事が出來ました時、今までの物憂げな幼稚園の空氣も
高く明るい話し聲や笑い聲に温められて、朝の九時から三
時過ぎまでこんなに活氣付いた事でございませう。偶に、
築山の柵の隙間から傷ましい姿になつて人夫達の鋤やハン
マーの一振り毎に崩れて行く自分達の家を不安氣に打眺め
てる子供があつても、其處には今に新しい良い家が建
てられる事を吹聴して、行く先々に希望を持たせる様に
努めて居りました。

こうしてまあさうにか覺束ないくらしを續けてゐる中に、八幡宮の秋祭りが來、大阪灣には聯合艦隊の入港も、それと一緒に、壯觀な陸戰隊の觀兵式が行はれたりして周圍が賑々しくなるも純な子供の氣持は又何の屈托も無く其の方へさ向いて行くのでございました。

然し何さ申しましても自分の部屋さ云ふものを持たない借住居の不自由さは免がれませす靴置く場所も椅子の座蒲團も皆他人の名前を記した借物ですし、クレイオンや鉄などは必要な時々室へ持運んで來て使へば又運び去るさ云ふ有様でございました。

そう云ふ風な關係もございましたか之の頃の子供の始終騒々しい様子が氣になつて居りました。殊に休みの時間に他の保育室の様子を見たり保姆欠勤の組へ手傳いに行つたりして見て、他の組の子供は、保姆の話も靜かに聞き、仕事なごも云はれた通りに聞き入れて行儀良く出来るのに自分の組だけ何故あゝ騒々しく行儀が悪いのかさ案ずる氣持がいよゝゝ深くなつて來たのでございます。今年計りでなく、毎年私の預る組に限つて人一倍お喋りで落付きが無か

つた様に思はれますので、其の事について自分もよゝゝ案じて居りました。或は、私の話振りが非常に拙くて、一向傾聽する價值のないもので、子供の興味を惹きつける事が出来ないか、私の聲が悪い爲に子供に聞き取れにくく、返つて不快に、思はせるのか、又は、子供が自分に尊敬の心も信頼も失くなつて、それで私の氣持なき素直に受入れて貰へないのでは無からうか。或は又修養の足りない自分の缺點が良く見え透いてその影響が目に見えない力で子供に作用してゐるのではなからうかとも思ひめぐらしてみろ心に當る節々もあつて非常に淋しい氣持になるのでございますが、又時には子供を行儀良くさせ様、口を閉して靜かにさせ様とするのは此方が無理なので、あれで子供が楽しいのならばそれで良いでは無いか行儀は大きくなつてから良く習慣付ける事も出来るだらう。何も必死になつて纏める必要はないではないか、自分は纏めて命令したり説明したりする事が下手ならばその必要のある摺み紙や製作を抜きにした保育をして行けばいゝではないか、なごゝ樂觀主義に出る事もございます。兎に角訓練さか、賤けさか云

ふ保育方面に落度のある事を知りつゝも徹底させる事の出
來ない悩みを今尙持續けて來てゐる始末でございます。

授園舎の取毀ち作業も漸く終つて、材木も略々方付きま
したのでいよいよ二十九日から煩はしい二部制度も解消し
て一齊に元々通りの保育時間に戻りました。只赤組のお部
屋だけは物置きになつて居ります爲七坪の職員室に上敷き
を布いて其處で當分假住居をする事になりました。在席二
十七人にしては餘りにも狭過ぎる之の部屋で常でもあの様
に自發活動の旺盛な子供達がこれからはどんなに混雜する
であらうと思ふも、さても心配でございましたがそれでも
不自由はお互ひに忍ばねばなりませんので、一部屋二組合
併の組の事を思ふも其んな氣儘も申されなわけですして今
度はこの室を中心に、出來る限り、最善を盡して行かうと
覺悟を定めたのでございました。

十月中の保育事項

(一) 手技

粘土(自由製作) 自由畫(軍艦) 貼り繪(觀艦式) 水兵
帽子 粘土(軍艦) 自由畫(軍艦) 塗繪(柿) 柿ミ果物

籠(紙製作) 菊の花(色紙麥藁にて)

(二) 談話

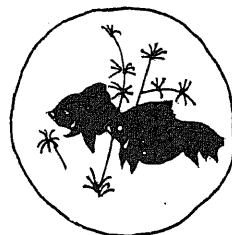
お豆の好きな鳩 机さ椅子 ぴよんぴよこ兎 三匹の熊
赤ちやんになつたお爺さん

(三) 唱歌遊戯 (◎標は歌のみ)

◎兵隊さん ◎明治節 象 もみぢ 菊の花

(四) 行事

一日、二階建園舎取毀のため本日より十日間休園、職員
使丁備品運搬保育室模様替へ等に没頭 二日、前日同
様 三日、本日より取毀に着手 十一日、本日より
三部に別け二部保育をなす 十三日取毀完成 十五
日、秋祭にて休み 十六日、本日より年長年少の二部
保育をなす 十七日、神嘗祭 二十日、本日より取
毀の材料を搬出にかゝる 二十一日、大阪市主催風水
害遭難慰靈祭(中央公會堂) 二十九日、本日より平常
保育に復歸す、但午前中



あなたの机の上に

幼稚園
託児所 保育の實際

朝原梅一氏著

著者は、東京府の社會事業主事で、氏の彈力ある熱を以て保育事業がぐんぐん進展して來てゐる事を、かれてから知つてゐるので、この本が出るのを待つて早速に讀んで見た。

幼児教育が盛んになつて來た一面であらう、保育に關する參考書が近年大分多くなつて來たことはまことに喜ばしい現象である、が、兎角幼稚園保育のみ對象をおかれがちで、保育一般

の本がどうもそれに傾き易い。その中で、本書はその何れにも偏することなく、而も各部に亘つて述べられてゐるのが特色の一つであり、又自序にもある通り、法令のあるものは是を引用し、説明しつゝ是を生かして行かうといふ態度を以て始終してあるのも特色である。

内容を摘記して見れば、まづ幼稚園、託児所、保育學校、農繁託児所各保育の意義及び目的から始つてゐる。ついで歐洲に於ける是等保育の起源

は、簡單ながらその要を得るに十分であり、本邦に於ける託児所の起源の中で、かの社會救済に盡した農政家、佐藤信淵が文化文政（一八二〇）の頃、すでに託児事業を計畫し、又兒童遊園、常設託児所、農繁期託児所が、明治二十年代にすでに創始されたといふ。

保育事業經營及び經營者といふ第二編は、當事者にとつての指針であり、保育の實際といふ編は、保母にとつて早速明日からやくに立つ記事で、模範的な保育案や、遊ばせ方迄親切に示されてゐるのは嬉しい。

第四編農繁託児所及保育施設の附帯事業を讀むと、それ等の知識を確實に得ると共に省みて精神的に思はせられる何物かを感じる。幼稚園關係法規及同準用法規が附録になつてゐる。

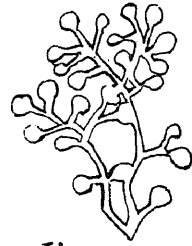
斯うして、この一書で保育事業各方面の大勢を知る事が出来るのは何といつても重寶なことである。（壹圓五拾

錢三友社）

新庄

庭の巻

まあ お庭がよくなりましたこと、又こゝで園遊會でもして頂き度うございますわ、ミ遠來の客に蟲のいゝこゝを云はれてから、氣がついて見るミ、なるほゞ、二年前こゝでみざり會主催の園遊會のあつた時ミ比べて見るミ、木々の成長は云はずもがな、移し植えられたミも思はれず、もつこく、ヒマラヤシダー、つゞぢ等がすつかり地について、濃緑ニの茂みを増して來た。ゆかりの深い藤の木も棚にすつかりなづんで、もくもく盛り上つた新葉から房々ミたれた花の下で、今年ミは藤見の宴を催したほゞの盛りであ



ひざりがたり



新庄よしこ

つた。やがて秋になつての藤づる藤の實が、みんなにかよい遊びになるこゝかミ、今はすばかりにのびた實を、見上げては樂しんでゐる。

いてふを詠む

幾世よりかくて樹ちけん古木いてふその大
いさの何か尊き
見上げたる腫しづかに寂しづかなり夏空に太く樹ちたる
濃ニみざりのいてふ
荒く萌ゆる雑草の廣庭相へだて大きいてふ
の梢うねは寂しづけし

油蟲毛蟲受難の卷

かつてはその貧弱さを、きりくすの籠のような云はれて、今にも取り毀されそうであつたまが、きの家も、このごろは細い竹にからまつたつるばら、はみやばらに飾られて、まここ趣のある遊び場を變つてしまつた。それさいふのも及川さんが、こやしから油蟲退治を心をこめた丹精で斯うものびのびと育つたわけ。油蟲がうか／＼たかつてるようものなら、デリス石鹼をシャア／＼かけられるので、園藝用の白い手袋をはめた及川さんの姿を見るに油蟲はちぢみ上つたさいふ話。

毛蟲の頃になつてキヤツミ聞えるのは、たかられた先生の悲鳴。ミころが編輯局長小島光子さんの組の子は、さすが理科出の先生に仕込まれたとけあつて、毛蟲を見れば櫻の木に攀ち登つてつかまへないさ氣がすまない。この組の實習生もだんだん毛蟲が怖くなくなつたさいふ。つまり毛蟲ばかりは子供から保育されたようなわけ。今年は随分捕つたそいで、この組の子の姿が見えるに毛蟲は大急ぎで逃げ出したさいふ話。

白髪の卷

この家のあるじ倉橋先生も至つてお元氣で、風邪をおひきになる暇もなかつた位のお忙しさ、少し位病氣する方が高級な人間だなと、おしやつた事もあつたように覺えてゐるが。然し争はれないもので、この頃さん白髪がふえて来た。おい、倉橋君は一體幾つだ、髪が黒すぎるぞ。ミ小學校の堀先生がよく氣になさつたが、なあーに今にわかると思つてゐたところ、案の定、この頃はすつかりでもないが、白い方が目につく位におなりだ。それさいふのも、長男の正雄さんが大學にはいられ、つゞいて弟の文雄さんが又するつミ大學生になられた。人からはらくらくに見えても容易でないのが入學試験。それ迄のお心づかひは又格別、その試験の前日、幼稚園の歸りに暮れてから巢鴨の、ぎげぬき地藏尊にお詣りに行かれた程の親心。尊い白髪だと思つて拜見してゐる。

實習生憤慨の卷

子供が歸つてしまつてからの保育室で、實習生がかたまつてひそ／＼話してゐる。今しがた迄こゝで塹壕を掘つて

るた砂場を掃きながら私は、早くお掃除しておしまひなさいなま云ふに、先生、癪にさはつた事があるんです、四人で口を揃へて云ふ。まあ、さうしたのミ箒を持つたまゝ室にはいると、あの今日Sさんがね、先生、英語で椅子の事何て云ふか知つてゐるか、つてきくので、チェア、ミ云つたら、そんな發音つてあるかい、チェア、つて云ふんだなんて、四人もやられてしまつたので、口惜しいんです。その子は、そればかりでなく、英語々々で、何知つてゐるか、知つてゐるか、知らないだらうつて威張るミ云ふ。外の事なら私も、まあいゝぢやないの、ほつさきなさいよ云ふ所だが、かねてからこのSの小生意氣をさうしたら直せるか、日々苦になつてゐる矢先、思はず話に乗り込んでしまつた。そうして、もし今度さう云つたら英語なんか知らなくたつていゝのミ少し強い語氣でギョツミ云つて御覽なさい云つておいた。この四月から先生ミ云はれてゐる實習生が、憤慨するところが可笑しくもあり、いやに先生ぶらないで卒直なところは可愛くもあつた。然し解決のつかないのはこの子のこせくミした小才子ぶりである。

さうかして少しでも男らしい豁達な子になれたらミ日々努めてゐるのに、此の頃では英語を習ひに行つてゐるさきく。せいぐ砂場で、泥だらけにでもさせておくより仕方があるまい。

(六月五日)

外へ、外へ、

梅雨期に入りました。今年は雨量が少なからうと氣象臺では言つてゐますが、子どものためには、どうか雨の日を少なくしたいものです。しかし、どうしたつて雨が多いでせうから、一寸でも晴れ間を無駄にしないで、外で遊ばせませう。お天氣の日は部屋の中にて、雨が降ると雨をうらむのでは、どつちが悪いのか分りませぬ。

(てるく坊)

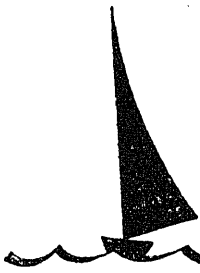
まはる水車、走る小舟

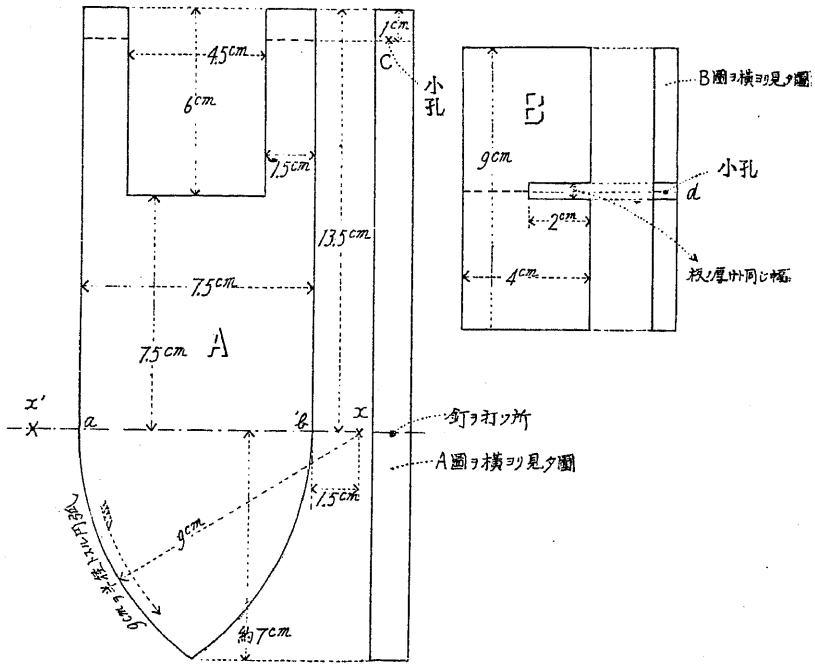
小 島 そ の

七八

楽しい水遊びの時節が訪れて参りました、これからは、お池にお砂場に或は水道の流しにまでも、到るころにこの遊びがはじめられることで御座いませう、あの暑い日向のお砂場で、子供達は毎日毎日大きなお池作りに夢中になつて居りました。大きいバケツでむかふの水道から二三人で水を運んで参りますよ、この水が、あの小さな手で一生懸命に掘られた池の中にザーツミ、音を立てゝあけられます、この時の本當に満足気な子供の顔、ぎろのはねだらけの可愛い顔、先生の方もしばらくは、ジーツミこの様子を見守つて居りました、がすぐその次にはこの様なことを考へずには居られません、「早く止めさせなければ大變だ、もうあんなにズボンもエプロンも水だらけになつてゐる」しかしこんな折角面白くて夢中になつてゐるのに、この様な大人の考へだけで子供の大事な遊びの邪魔をして

はミ考へますミ無理に止める事も出来ません。この様なことがつゞきますミ毎日朝から、さうか今日は砂場に入らぬ様にミ種々子供の氣持を他に向け様ミ苦心してみますが、一度面白さを味はつたものでも、子供は外に出るミすぐ又昨日のつゞきををはじめます、「もう病氣になりますから止めませう」ミ口だけでは止めては見ますが、三度に一度は少し位は、ミいふ事になります、先づ第一に止めるよりも、もつゞく子供今の氣持に叶つた、そしてこのごろ水遊びよりも、もつゞ満足を與へるミこの出来る様な遊びは無いものかしら、ミ毎

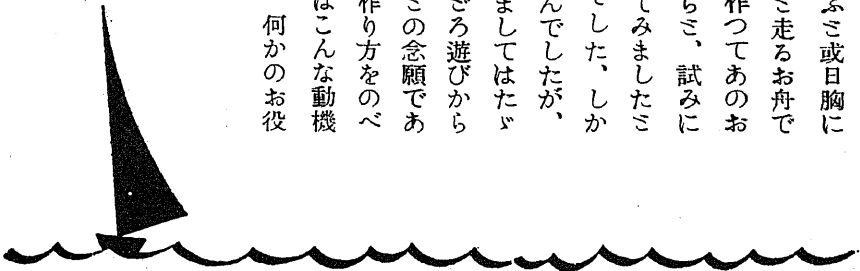


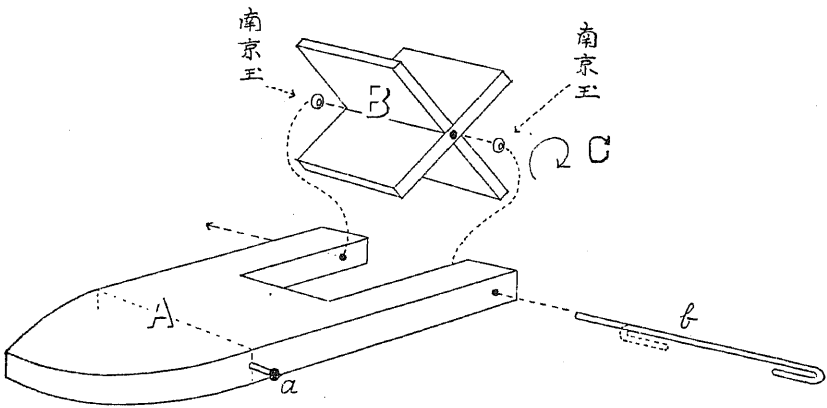


日考へて居りましたところ、ふき或日胸に
 浮びましたが、まはる水車を走るお舟で
 した、これを子供一しよに作つてあのお
 部屋の水道の流しで遊んだなら、試みに
 急拵へのもをすぐ翌日用ひてみましたこ
 ころ、うれしいこに成功でした、しか
 しこれも長續きはいたしませんでしたが、
 正直なところこの先生にこりましてはたゞ
 一日でも二日でもあの砂場のさろ遊びから
 遠ざかるこさえ出来たならこの念願であ
 つたのです、これからこに作り方をのべ
 させていたゞきます水車を走はこんな動機
 から作られたので御座います。何かのお役
 に立ちましたら幸存じます。

走る小舟

材料をいたしましては厚
 さ一握半位の板が適當に存
 じます、圖を御覽下さい





せば大體はお解り
りで御座いませ
うが大切な部分
を説明いたしま
せう。

第一圖Aの船
首の曲線は之
は直線abを兩
方に一糎半づ
つ延長して夫
夫xx'の二點を
求めそれ等を
中心としてax
bx'を半径とし
て圓弧をかい
て作つた線で
す。

同じ第一圖AのCは小孔でこの孔は、入れ
るべき針金がゆつくり入る様に開け、圖B
のdの小孔は入れるべき針金に對してきつ
い位に開けます。

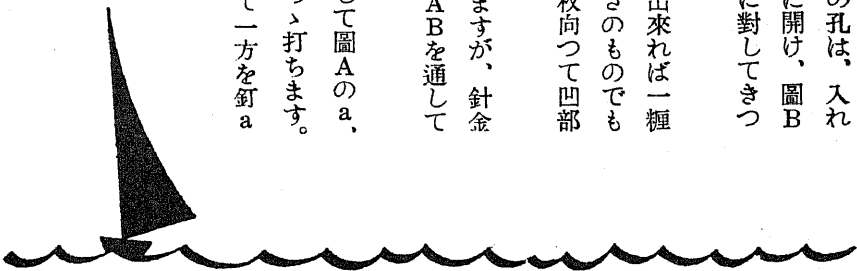
圖B凹形のもものは板の厚さは出来れば一糎
か八糎位がよく圖Aと同じ厚さのもので
よろしいと思ひます、之は二枚向つて凹部
を組合せ水かきまします。

次に第二圖、組立て、御座いますが、針金
bを片方だけを圖の様に曲げABを通して
から他の方も同様に曲げます。

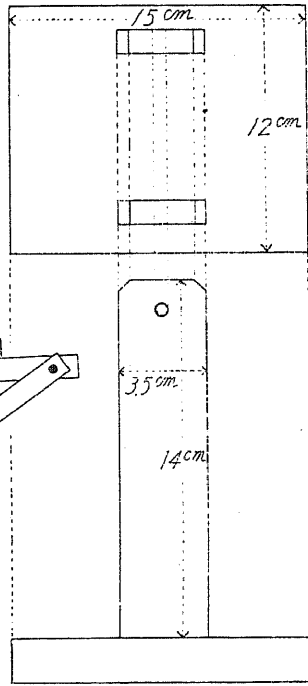
次に釘aは頭の部分一糎位残して圖Aのa、
bの位置に舟の兩側より一本づゝ打ちます。
最後に輪ゴムを二本位つなげて一方を釘a

に、他方を針金Bの輪の中
に入れ、他の側も同様に致
しゴムを針金bにきく様に

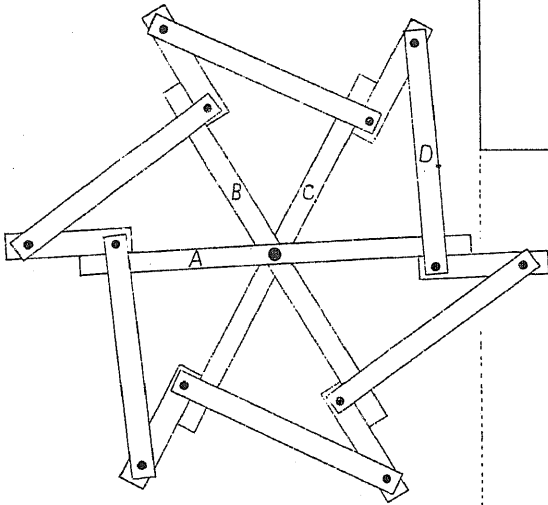
水かき車を矢C (第二圖の



下圖ヲミテ見タル圖



水車の台



B圖の方向にまはして水中に浮べてはなせば、パチャパチャ水を飛ばして氣持よく泳ぎます、尙針金は成べく太いもの（直径一耗半位）が適當です。

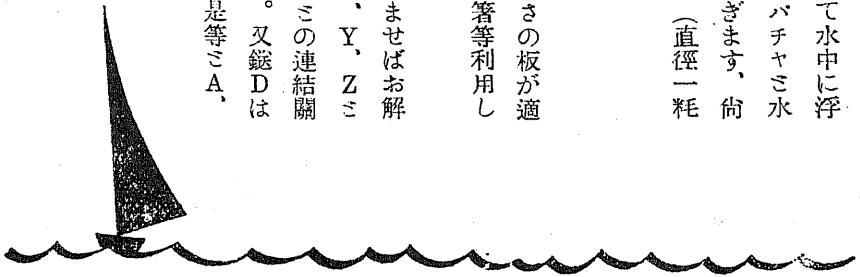
まわる水車

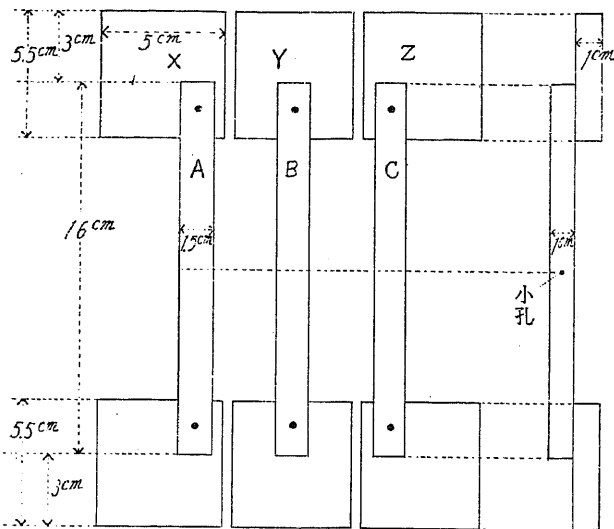
材料としては一厘の厚さの板が適當でせうが、空箱、割箸等利用しても結構です。

これも圖を御覽下さいませばお解りでせうが、四角板X、Y、Zとその支へ棒A、B、Cとの連結關係に御注意下さいませ。又鏝Dは皆で十二本要します、是等ミA、B、Cの先の四角

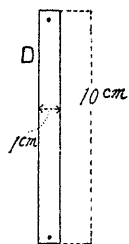
板との連結關係も

圖の如く上、下、上、下、ミ四角板の

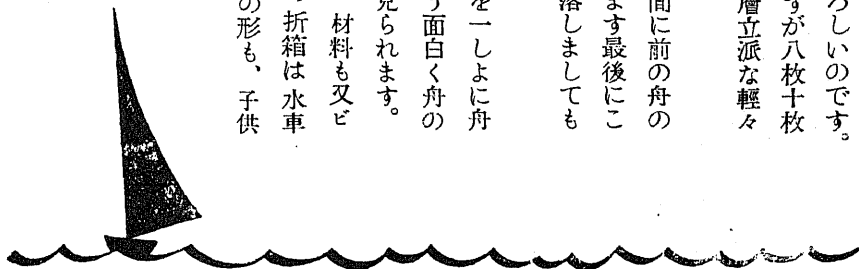




右圖より見たる圖



兩側に小釘で打ちつけければよろしいのです。
 又この水車は四角板が六枚ですが八枚十枚
 ミ御自由にお定めになれば一層立派な軽々
 ミまはるものが出来ます。
 又水車の臺の支へミ水車ミの間に前の舟の
 様に南京玉を三つ位づつ入れます最後にこ
 の水車は砂を小孔より車上に落しにしても
 又面白いものが出来ます。
 以上二つの小舟ミ水車はこれを一しよに舟
 の方にさりつけましても、大さう面白く舟の
 走るのミ水車の廻るのが同時に見られます。
 これ等は極めて簡單な作り方で、材料も又ビ
 ールの空箱はお舟に、お菓子の折箱は水車
 に、丁度適當ミ存じます。お舟の形も、子供
 の手で作りますのでして、形
 はミの様に整はなくとも動く
 こきによつて子供達はみんな
 にか満足出来ると思ひます。



保育の實際に役立つ良書

東京女高師教授
同 附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生監修

保 育 叢 書

定價各一圓
送料金六錢

コロンビヤ大學附屬幼稚園及び低學年級の課程

幼稚園律動遊戲曲譜集

附 律 動 動 作

幼兒性行評定尺度

編一第

幼兒のための
人形芝居脚本

東京女高師附屬幼稚園編、手製の人形を以て實演し直に幼兒に見せられます。(舞臺、人形は弊館に在り)

編二第

自然物おもちゃ

膳貞規子先生著、自然の萬象を採つて以て幼兒の玩具とする方法を解説したものの。

編三第

幼稚園の
手技製作

及川ふみ先生著、實地の經驗に基き各種多樣の手技に互り新しき手法を教ふ。

編四第

實驗保育學

和田實先生著、小學校に於ける教育學の如く、保育の内容を學問的系統的に理論づけたもの。著者の一大勞作である。

ヒル女史原著 大阪市保育會調查部譯 定價二圓

幼稚園及低學年級に於ける行事と保育項目及び保育資料を實驗的に併列し、その心理學的效果を細敘したもので、世界的名著である。

大阪市保育會編 定價一圓三十錢
幼兒の最も喜ぶ遊戲用の樂譜を輯録したもので、必ず一本を備ふべきもの、裝幀優美堅牢。
箕島カネ女史著 定價五十錢
附 律動動作は前記曲譜集に附屬する別冊振付、此の書を見れば律動遊戲の仕方が仔細に明瞭します。

淡路圓治郎先生著 定價一圓

幼童心理學の大家たる同博士の、幼稚園兒の性行を實際に就いて記録せる尊き文獻、その評定にあつて權威ある尺度であり、日常の保育に直に役立つもの。

所 行 發

館ルベールフ 社會式株

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東 店本
番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大 所張出

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽一
 主幹 東京女子高等師範學校教授 附屬幼稚園 主事 倉橋 惣三

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 會長 一名 會務ヲ總理ス
 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁	二等面一頁
半年分	金貳圓拾錢	金貳圓	金拾圓
一年分	金四圓拾錢	金拾圓	金拾圓
拾貳冊送金	金四圓拾錢	金拾圓	金拾圓
拾貳冊送金	金四圓拾錢	金拾圓	金拾圓

廣告 神田區駿河臺三品田 廣告社に御申込下さい

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）
 昭和十年六月十五日印刷納本
 昭和十年六月十五日發行
 幼兒の教育 第三十五卷 第六號

不許複製 禁止轉載

發行所 東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

注文規定

- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます。(郵券代用の場合は總て一割増)
- 一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

東京女高師教授
附屬幼稚園主事

倉橋惣三先生序

聖美幼稚園長
内山憲堂先生著

菊判三百五十頁
定價二圓八十錢

幼童話の話し方と實例

▲「お話をしてヨ」させがまれることはありませんか、
童話を聴く時の幼児の眞剣な顔を……輝く眼を見たこ
こはありませんか：：：幼児にこつて童話は夢の花園で
あり、最も自由な最も大きい而も最も美しい世界であ
ります。
▲著者は學理と實際とを兼ねた童話界の雄 定評ある
童話家にて数ヶ所の保姆養成所での指導者であります。
本書によつて幼児童話の正鵠を知り親切な註入りの實
例を直に幼児の上になかされんことを切望致します。

- ▲幼稚園の先生 にはなくてはならない毎日の 保育寶典
- ▲小學校低學年先生には 教室を和やかにする鍵
- ▲お母さま方には 子供の心を伸ばす 家庭の光明

内 容 目 次

- 一、 幼児と童話
1 忘れられた幼児と童話 2
研究の心の糧 3 幼児童話
研究の必要 4 幼児童話な
る語 5
- 二、 童話の發生 2 童話の意義
分類 3 童話の發達の年
齡と童話
- 三、 幼児童話の教育的價值
1 藝術教育 2 人生への暗示
3 思想感情 其他
- 四、 幼児童話の要素
1 互話 2 母心慈語 3 内容を
作るもの 4 話し方の要素
5 韻律について
- 五、 リズムとは何ぞ 2 幼児と
リズム 3 童話のリズム
- 六、 リズム 3 童話のリズム
1 特殊性 2 組立の要素 3 組
立法 其他
- 七、 言葉と音聲
1 對話法 2 音聲的變化 3 音
葉と音聲
- 八、 幼児童話のビズチュア
1 セスチュアアとは 2 幼児
とセスチュアア 3 態度上
の注意
- 九、 選び方と改作
1 内容選擇 2 時間 3 改作法
10 幼稚園に於ける童話
- 十、 談話について 2 場所と座
席 3 話し方 4 童話と朗讀
十數篇
- 例話

七版

東京女子高等師範學校
教授・附屬幼稚園主事
倉橋惣三先生著

幼稚園保育法眞諦

▲四六版三百餘頁頗る美本
▲口繪十六枚・挿繪多數入
▲幼稚園の實際・實景紹介
▲定價二圓五十錢 送料十六錢

東大 東阪 社會資合式株書圖洋東 發兌

東京市神田區神保町一丁目 目一
大阪市内區安堂寺一丁目 目一

夏休み前からお休みへかけて

涼しい、おみやげ品の手技材料と
お子様方の歡ぶ保育品のいろいろ

御用意はたゞいま!

◇團扇—淡い、紅黄・紫・緑・水色の五
種。何れも貼紙クレオン等で圖案を施
して用ひます。

◇各色取合五十本 一組 金一圓五十錢
◇木舟—木製のお舟、エナメルで仕上
げ水に浮かせます。

◇紙舟—茶ホールに印刷した厚紙細工、
剪つて開き紙でとめ、クレオン、色テ
ープ等で意匠して水に浮かせます。
五十個 金一圓

◇噴水—水槽、水管、噴水孔付水盤の
一揃 金八圓

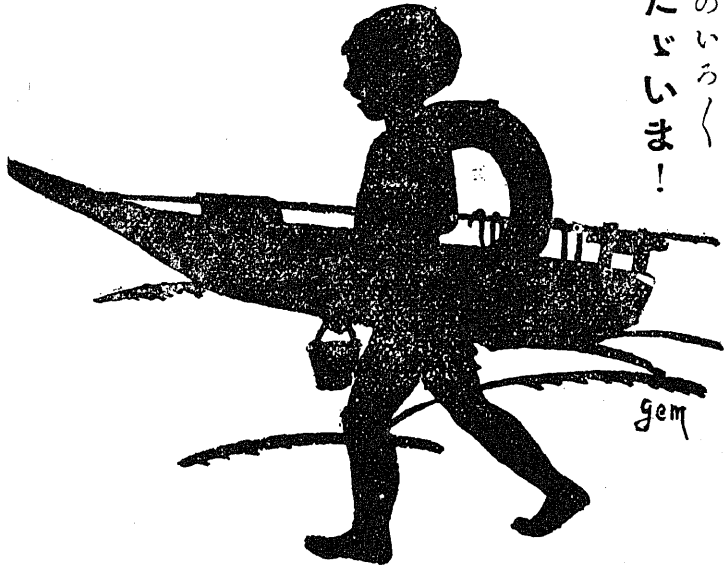
◇ポンプ—消防用小型の機構全部金屬
製ラツカー塗装、ゴムホース付。
一臺 金十五圓

◇嘔吐水—
木製 一個 金二十錢

◇撒水車—便利で應用自在
一臺 金十二圓

◇砂場用具—一號品はバケツ・杓・木鋤・
新案杓子。二號鐵製シャベル・ホー
ーキ・ホーク・板や・篩。
一組 金七十錢
二號 一組 金一圓

◇砂場の汽車とトンネル
一組 金一圓三十五錢



株式會社 貝ル館

本店 東京・田神・小川路・電話九三(33)番
支店 大阪・區東・後備五・電話九三番

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回) 十五日發行
昭和十年六月十三日印刷納本
昭和十年六月十五日發行

定價 三十五錢